■『Brownie』通常版、『Brownie ライト版』、『Brownie エントリー版』機能比較表

『Brownie』通常版と『Brownie ライト版』、『Brownie エントリー版』の機能について、
比較表を以下に記載いたしました。
通常版では全ての機能をご利用いただけます。
ライト版やエントリー版をお使いいただいた上で、アップグレードをご要望のお客様がいらっしゃいましたら以下のメールアドレスへお問い合わせください。

アップグレードお問い合わせメールアドレス：info@spiral-up.net

●分析調査・キーワード取得動作

	通常版	ライト版	エントリー版
キーワード自動取得	○	○	○※1
関連キーワード取得	○	○	○
検索ボリューム取得	○	○	×※2
PPC 広告データの取得	○	×	×
URL からの キーワード取得	○	×	×
ライバルサイト調査	○	○	×
フィルタ調査	○	○	○
フルオートモード	○	○	×
ドリルダウンモード	○	○	○

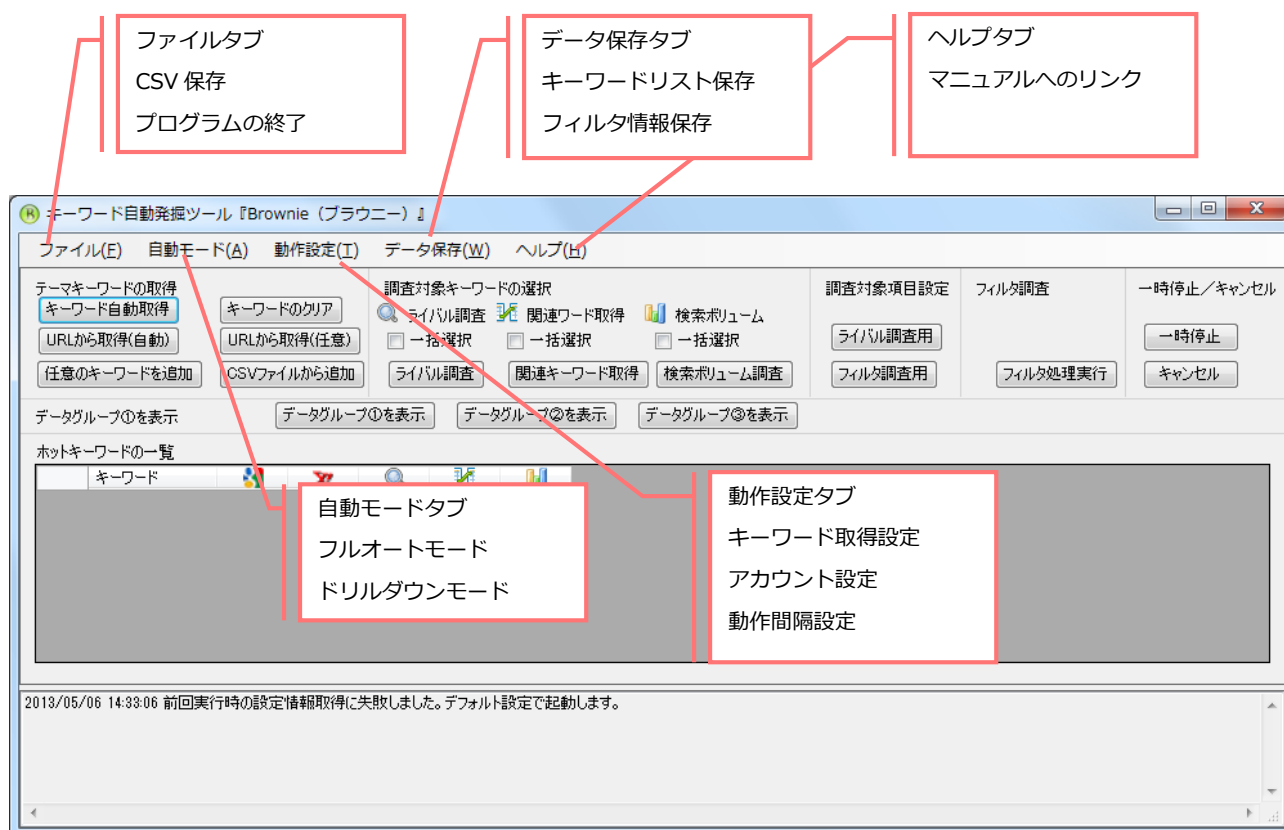
※1　：　エントリー版では通常版、ライト版よりも情報取得元の数は制限されています。
※2　：　エントリー版では Brownie の画面上で検索ボリュームの取得はできませんが、Yahoo!や Google から取得した検索ボリュームデータの CSV をインポートすることができます。

●データ取得項目

		通常版	ライト版	エントリー版
共通項目	検索予測数（Yahoo!/Google）	〇	〇	〇
	ライバルサイト数 allintitle（Yahoo!/Google）	〇	〇	〇
	ライバルサイト数 intitle（Yahoo!/Google）	〇	〇	〇
	広告数（Yahoo!/Google）	〇	〇	〇
	検索ボリューム（Yahoo!/Google）	〇	〇	×※1
	被リンク数・総リンク数・検索順位上昇期待スコア（ページ、ドメイン）（Yahoo!/Google/OpenSiteExplorer）	〇	〇	×
ライバル調査（広告）	広告出稿状況（Yahoo!/Google）	〇	×	×
	検索ワードとのマッチタイプ（Google）	〇	×	×
データグループ①	URL	〇	〇	×
	サイトタイトル	〇	〇	×
	メタキーワード	〇	〇	×
	メタディスクリプション	〇	〇	×
	インデックス数	〇	×	〇
	ページランク	〇	×	〇
	ドメイン年齢	〇	×	〇
	メタタグ内のキーワード出現回数	〇	×	〇
データグループ②有料カテゴリ登録状況	Yahoo!カテゴリ	〇	×	×
	クロスレコメンド	〇	×	×
	iディレクトリ	〇	×	×
	e-まちタウンビジネスリスティング	〇	×	×
データグループ③PPC広告調査データ	競合性（Yahoo!/Google）	〇	×	×
	CPC（Yahoo!/Google）	〇	×	×
	広告シェア（Google）	〇	×	×
	推定平均掲載順位（Google）	〇	×	×
	推定クリック率（Google）	〇	×	×
	推定インプレッション数（日）（Google）	〇	×	×
	推定クリック数（日）（Google）	〇	×	×
	推定コスト（日）（Google）	〇	×	×

※1　：　エントリー版では Brownie の画面上で検索ボリュームの取得はできませんが、Yahoo!や Google から取得した検索ボリュームデータの CSV をインポートすることができます。

※以上の通り、『Brownie』通常版と『Brownie ライト版』、『Brownie エントリー版』ではデータの取得項目が異なります。

■『Brownie』ツールトップ画面

まずはツールの初期設定を実施しましょう。

「動作設定」⇒「設定」をクリックし、ツールの設定画面を表示してください。

次ページへお進みください。

※『Brownie ライト版』では「URL から取得」ボタンは表示されません。

■『Brownie』の基本的な動作解説

この章では、『Brownie』を使ったキーワードの取得操作について、基本的な操作解説を行います。
※ツールの使い方はあなたのニーズによって様々な方法が考えられ、アイデア次第で様々な使い方が可能です。本取扱説明書においては、
・各ボタンの機能
・一連の動作の流れ
について解説するだけとなります。あなたのニーズに合わせて様々な応用方法を模索してください。

それでは順を追って、以下の 9 の項目について操作方法の解説を行います。

1. キーワード自動取得
2. URL からのキーワード取得と検索ボリュームデータ取得
3. 関連キーワード取得（自動取得キーワード、任意のキーワード）
4. フィルタ機能を使ったキーワード解析
5. 一時停止機能
6. 特定キーワードに対するライバル調査（SEO データ、PPC 広告出稿データ）
7. 検索ボリュームデータ取得と PPC 広告調査データの取得
8. Yahoo!キーワードアドバイスツール、GoogleAdwords キーワードプランナー管理画面での検索ボリュームデータ取得と Brownie への CSV インポート
9. CSV へのファイル出力・データ保存・保存データからのフィルタ作業の再開

次ページへお進みください。

●キーワード自動取得

初期設定③で選んだ情報取得元から、旬なキーワードを取得してくる動作モードです。

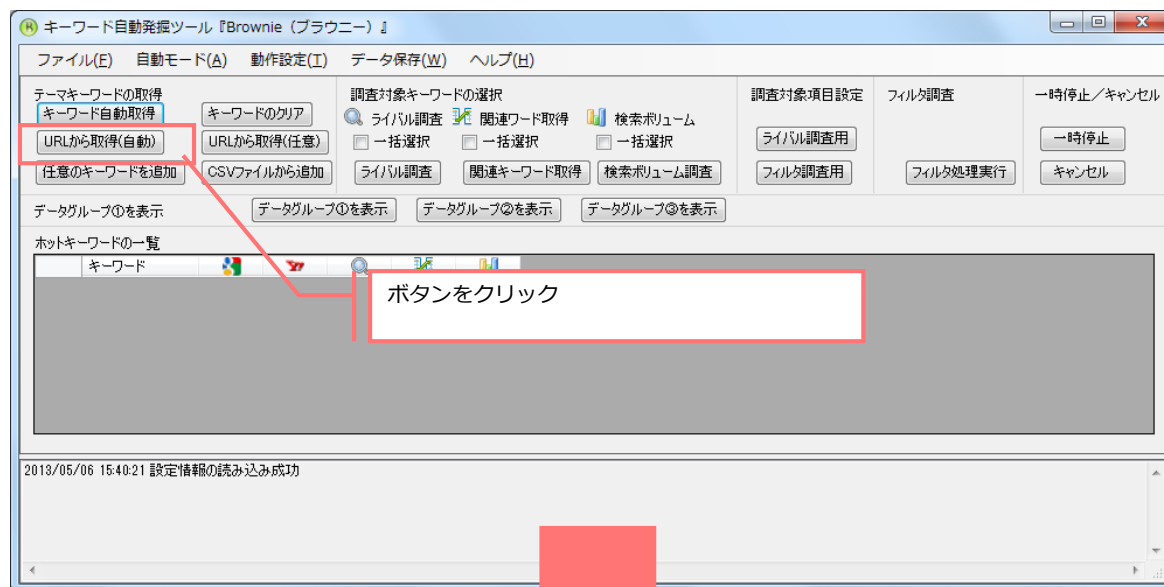
下図のように、「自動キーワード取得開始」ボタンをクリックしてください。

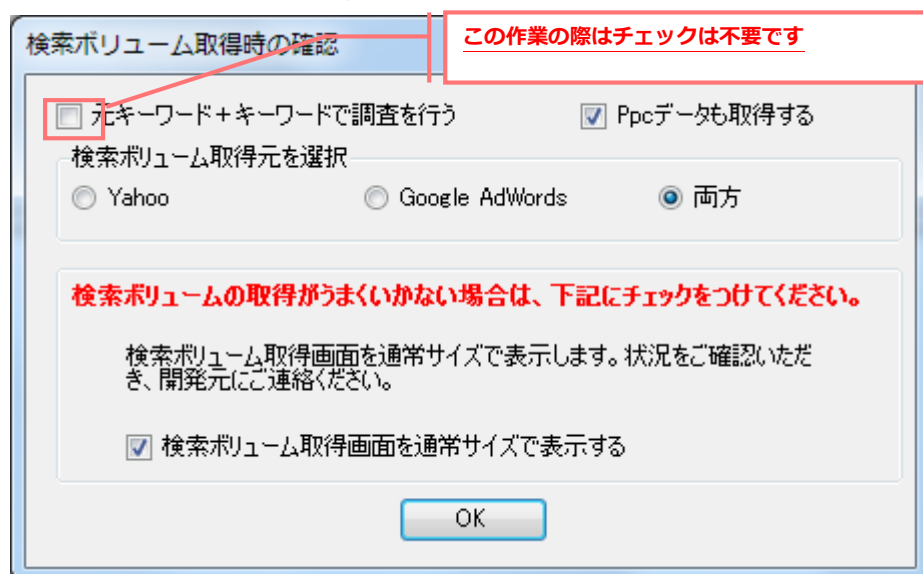
ボタンをクリック

上図のように続々とキーワードを取得し始めます。

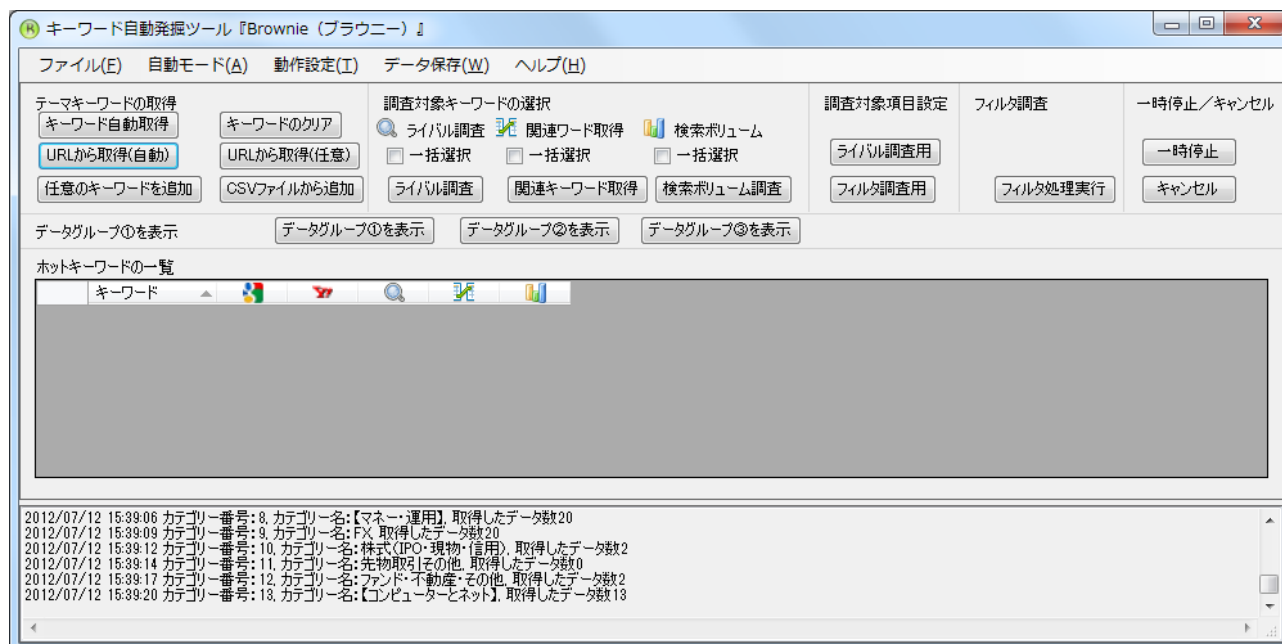
●URL からのキーワード取得（自動）

初期設定⑤で選択した情報取得元から、今売れ筋の商品・商材販売サイトの URL を自動取得し、リスト表示してくれます。

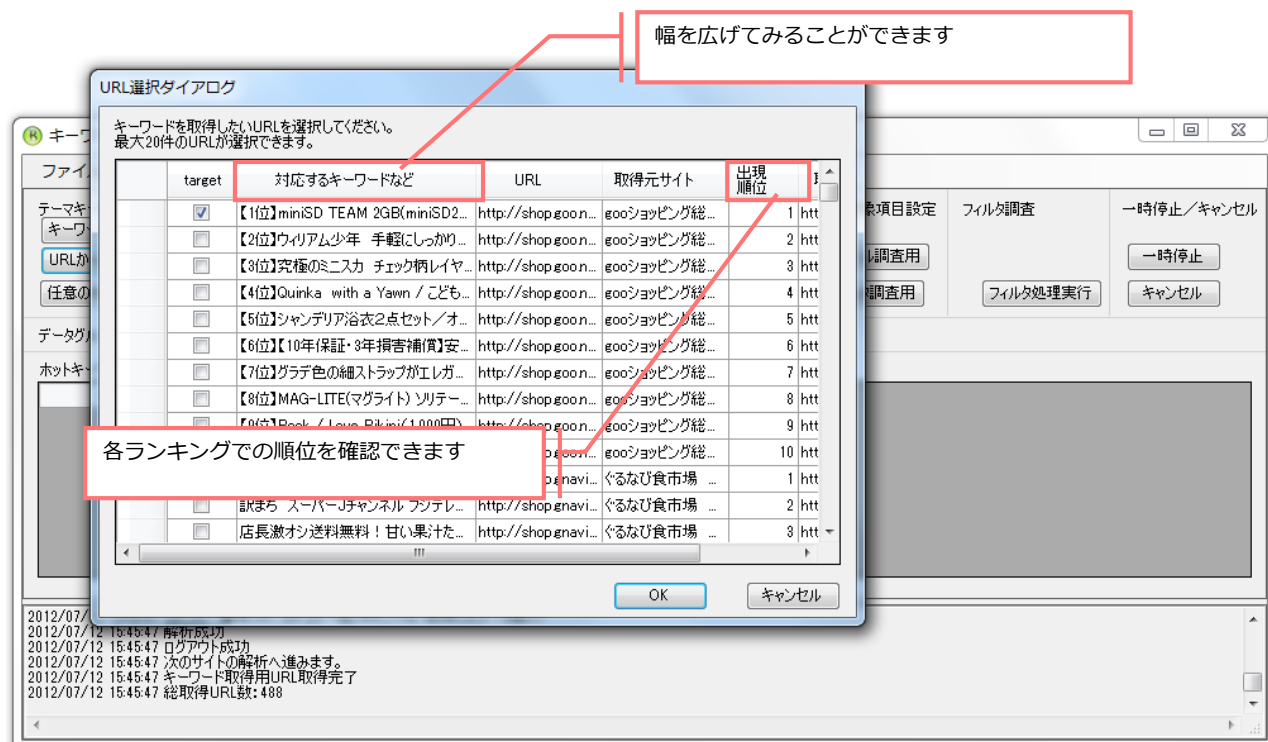
そのリストの中から 1 日当たり最大 20 ヶ所の URL を選択し、それらのサイトが重要視するキーワードを自動で抜き出します。

Yahoo!リスティングキーワードアドバイスツール、GoogleAdwords の検索ボリューム取得確認画面が立ち上がります。

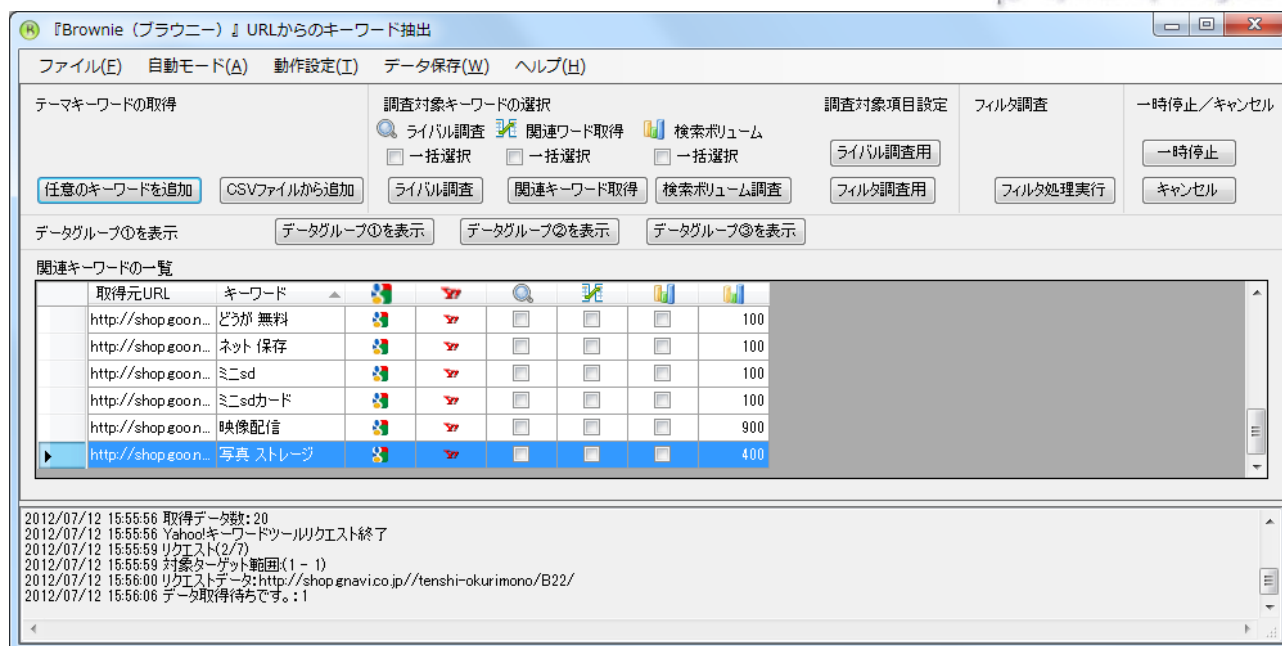
※URL 解析によるキーワード抽出と検索ボリューム取得は Yahoo!リスティングのキーワードアドバイスツール、GoogleAdwords のキーワードツールを使用します。全体での負荷軽減のため、「URL からのキーワード取得」の場合に限り、キーワードと検索ボリュームを同時に取得します。

「PPC データも取得する」にチェックを入れると PPC 広告調査データも同時に取得します。

上図を参考に、OK ボタンをクリックしてください。

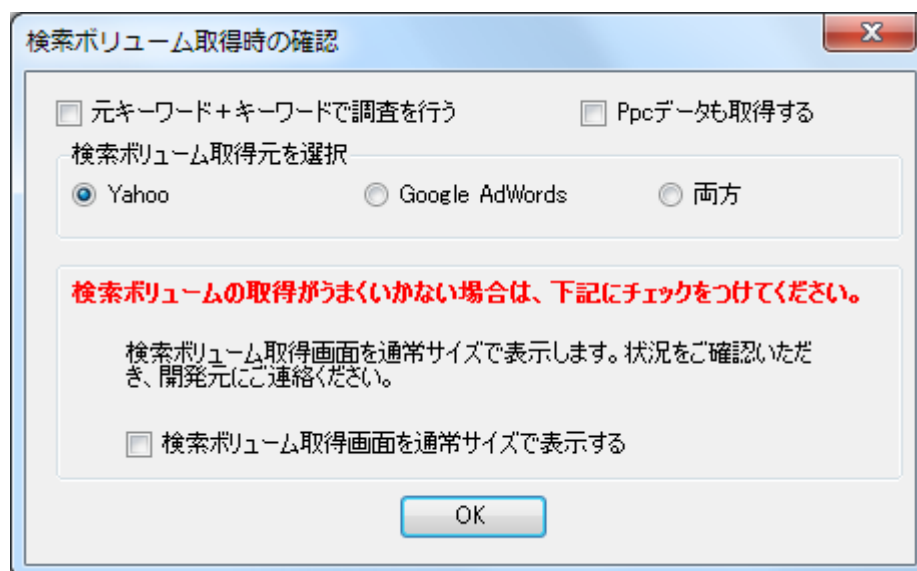
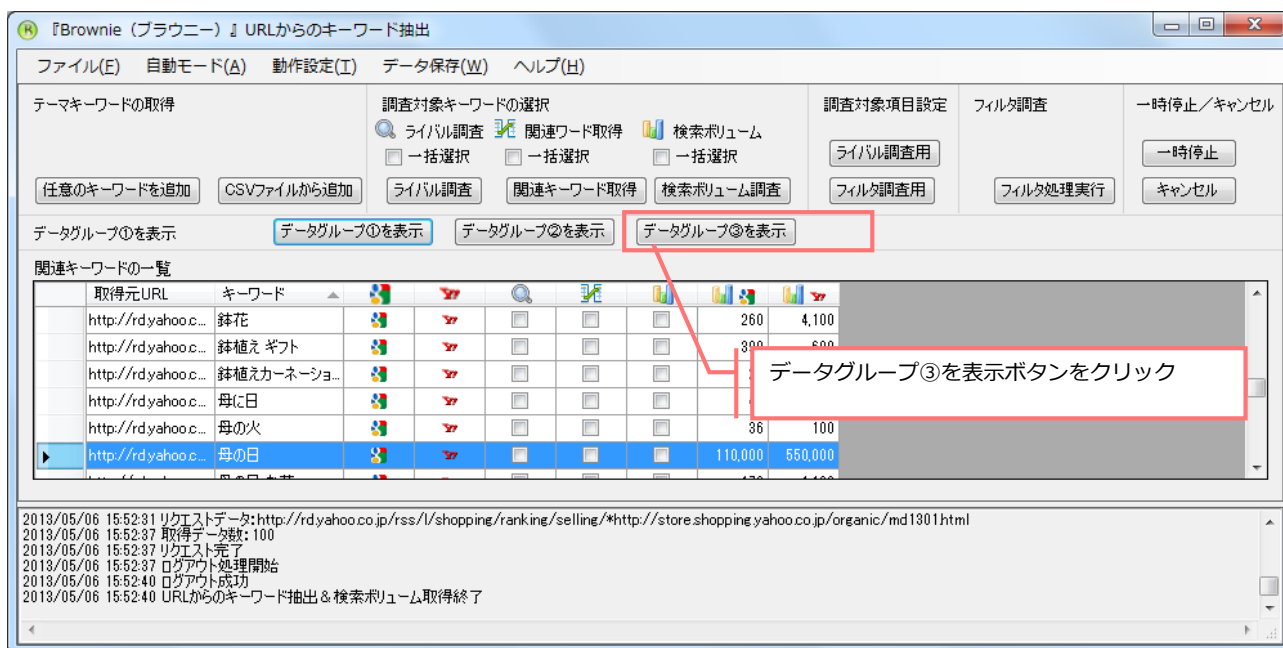
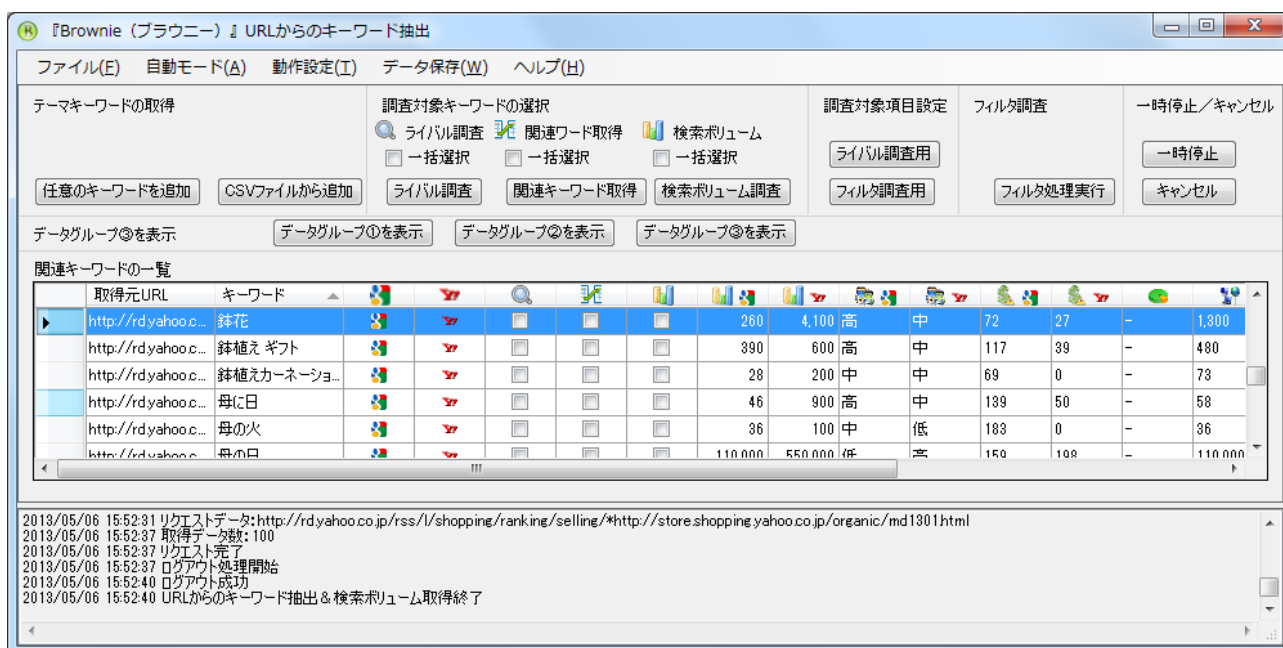
「OK」ボタンをクリックすると、調査対象の ASP からランキング上位の商品のサイト URL の調査をスタートします。

上図のように、URL の抽出が行われます。

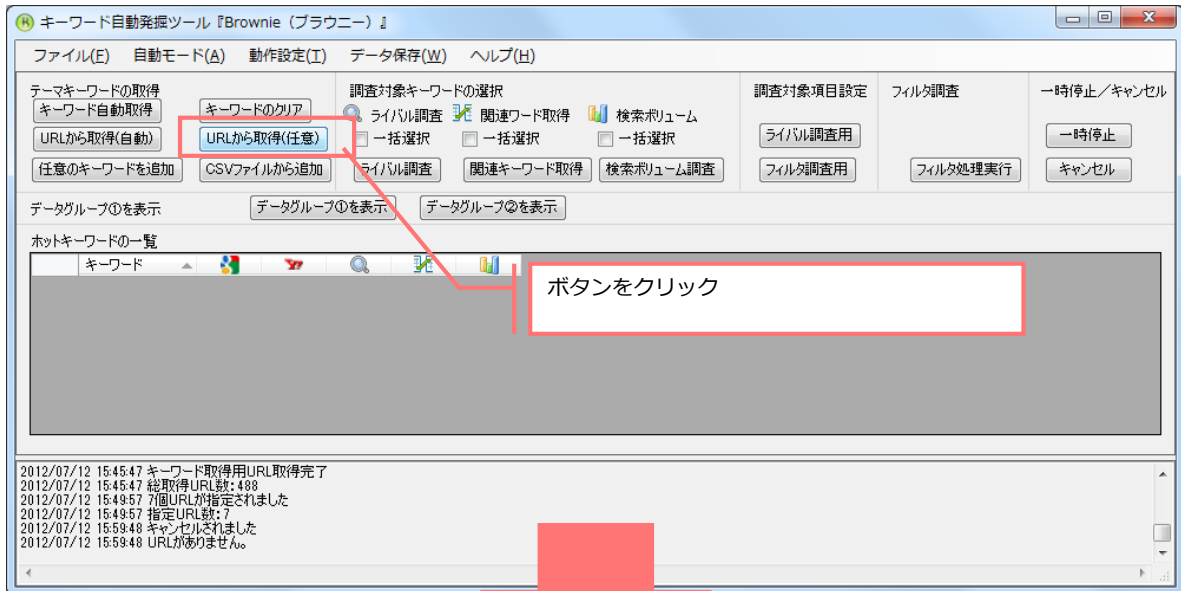
抽出が完了すると、下図のように、別ウィンドウで取得した URL のリストが表示されます。

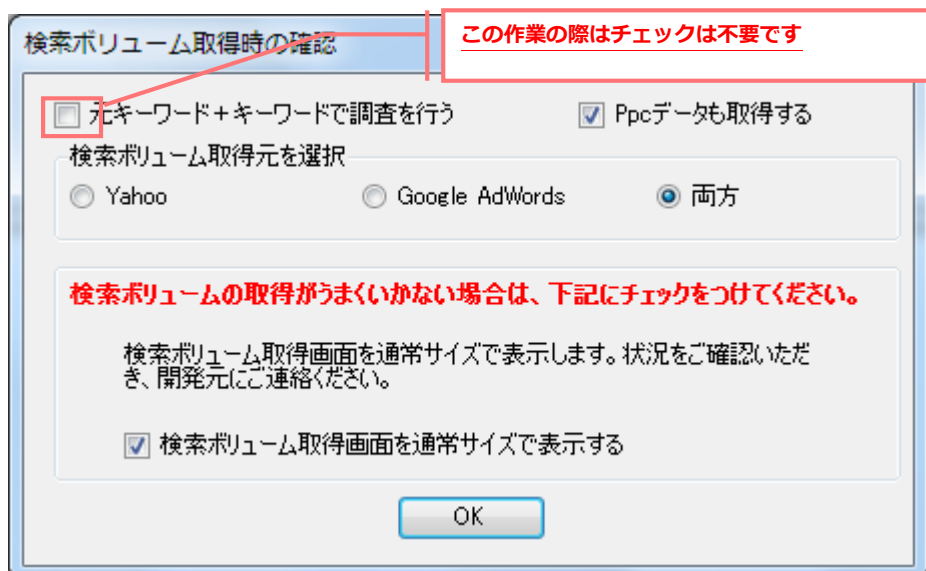
そのリストの中から、アフィリエイトをしたい商品等、1 日当たり最大 20 ヶ所の URL をチェックボックスで選択し「OK」ボタンをクリックしてください。

選択を完了して OK ボタンをクリックすると、URL 選択ダイアログが閉じ、

別ウィンドウが開き、URL からのキーワード抽出と検索ボリュームの取得が始まります。

※Ver1.4 より、検索ボリュームを Yahoo!リスティングキーワードアドバイツールに加え、GoogleAdwords キーワードツールからも取得できるようになりました。

※ver1.5 より、通常版では検索ボリューム取得時に PPC 広告調査データも同時に取得できるように機能アップしました。

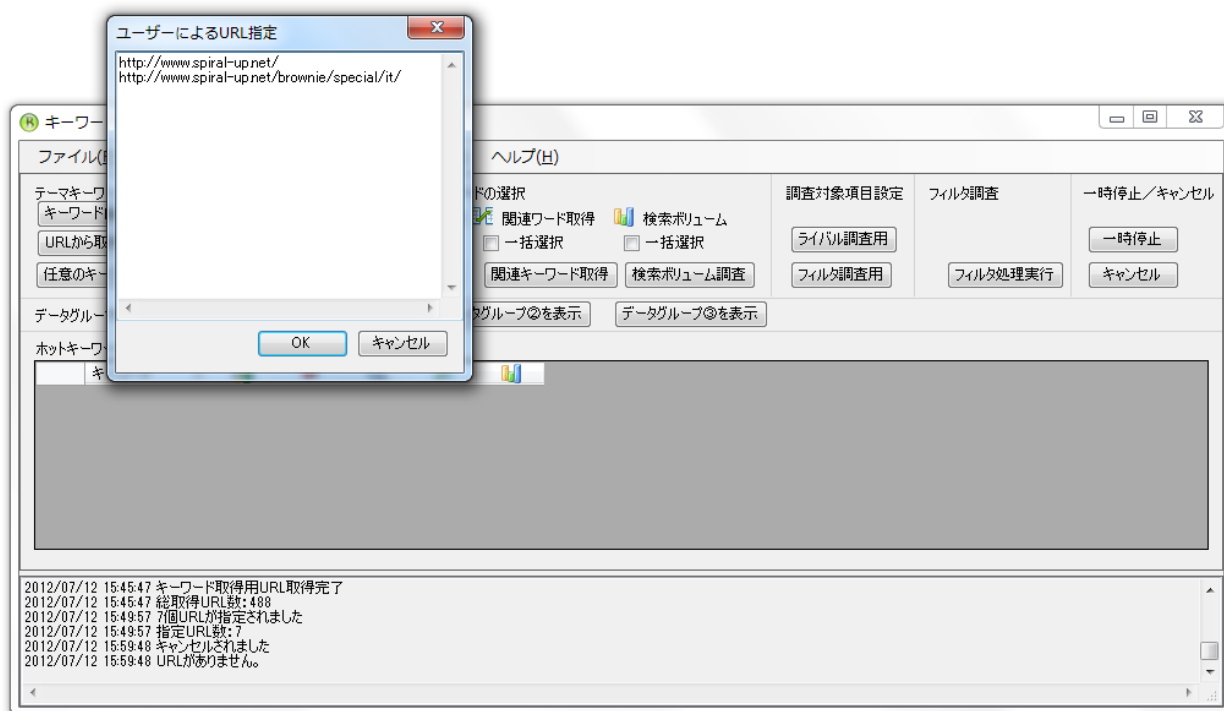
下図のように検索ボリューム取得の際に取得元と PPC 広告調査データの取得を選択できます。

取得済みデータの「データグループ③を表示」ボタンをクリックしてください。

下図のように、PPC 調査データが表示されます。

●URL からのキーワード取得（任意）

ライバル調査（後程の手順で解説）等で取得した、狙いのキーワードで既に上位表示されているサイトの URL から、そのサイトが重要視しているキーワードを抽出することができます。

Yahoo!リスティングキーワードアドバイスツール、GoogleAdwords の検索ボリューム取得確認画面が立ち上がります。

※URL 解析によるキーワード抽出と検索ボリューム取得は Yahoo!リスティングのキーワードアドバイスツール、GoogleAdwords のキーワードツールを使用します。全体での負荷軽減のため、「URL からのキーワード取得」の場合に限り、キーワードと検索ボリュームを同時に取得します。

「PPC データも取得する」にチェックを入れると PPC 広告調査データも同時に取得します。

上図を参考に、OK ボタンをクリックしてください。

「OK」ボタンをクリックすると、別ウィンドウで URL 登録用のダイアログボックスが開きます。下図のように 1 行に 1URL という形で調査したいサイトの URL を記載してください。

※1 日に調査可能な URL は様々な取得方法を含めて最大 20 か所までとしています。

URL を登録し終わったら OK ボタンをクリックしてください。

下図のように別ウィンドウが開き、URL からのキーワード抽出と検索ボリュームの取得が始まります。

【再掲】

※Ver1.4 より、検索ボリュームを Yahoo!リスティングキーワードアドバイツールに加え、GoogleAdwords キーワードツールからも取得できるようになりました。

※ver1.5 より、通常版では検索ボリューム取得時に PPC 広告調査データも同時に取得できるように機能アップしました。

下図のように検索ボリューム取得の際に取得元と PPC 広告調査データの取得を選択できます。

取得済みデータの「データグループ③を表示」ボタンをクリックしてください。

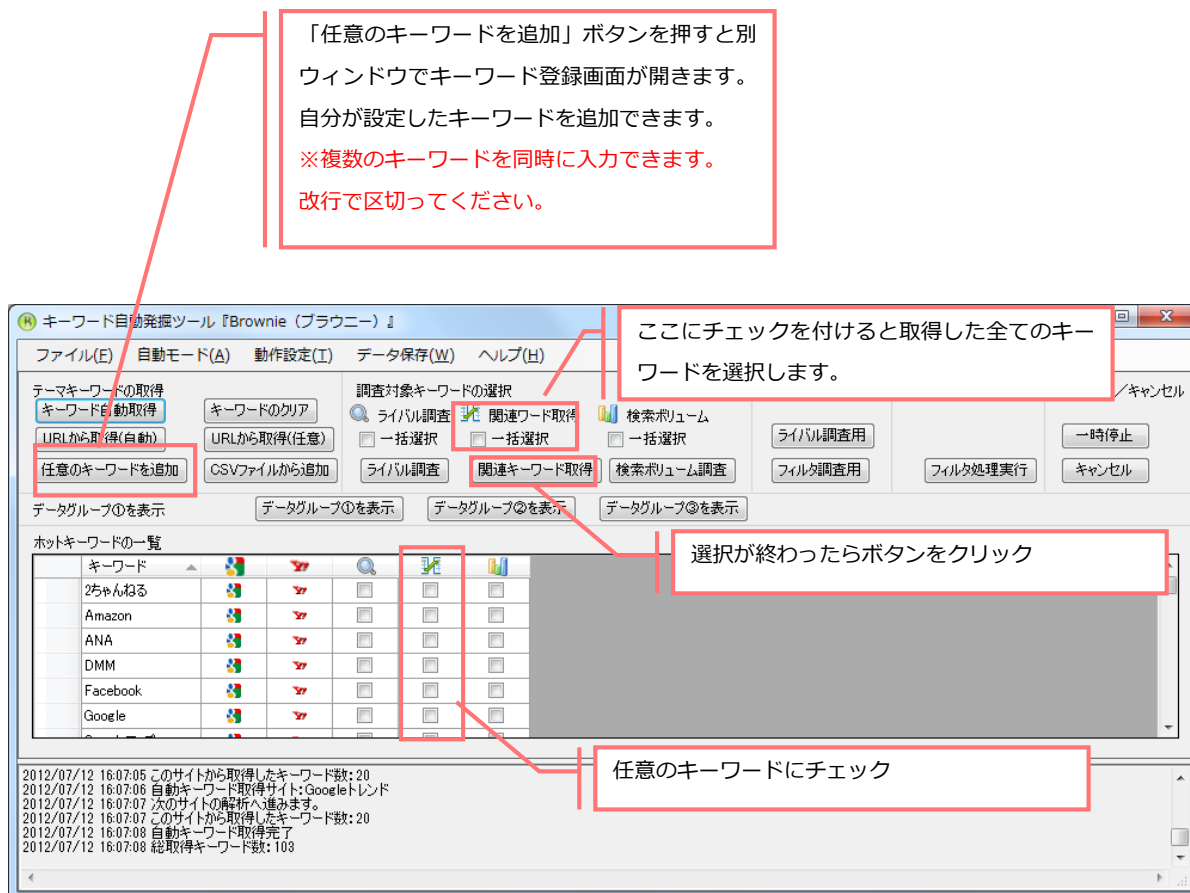
下図のように、PPC 調査データが表示されます。

●関連キーワード取得（自動取得キーワード、任意のキーワード）

自動取得を完了したキーワードの中から、もしくは任意で入力したキーワードから、関連キーワードを引き出す動作モードです。初期設定④で設定した情報取得元から、様々なテールワードや連想ワードを取得します。

「任意のキーワードを追加」ボタンを押すと別ウィンドウでキーワード登録画面が開きます。
自分が設定したキーワードを追加できます。
※複数のキーワードを同時に入力できます。
改行で区切ってください。

ここにチェックを付けると取得した全てのキーワードを選択します。

選択が終わったらボタンをクリック

任意のキーワードにチェック

※設定上の注意事項とポイント

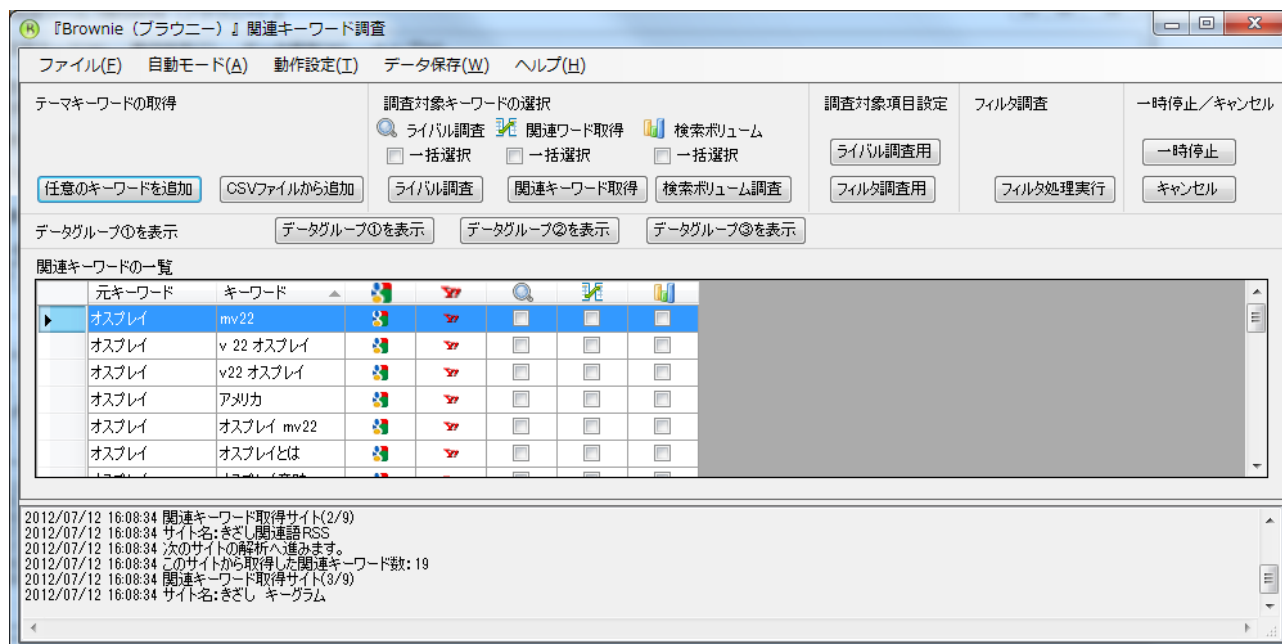
・任意のキーワードを追加して関連キーワードの調査を行うこともできます。キーワードの自動取得を行わず、自分が調べたいキーワードだけ入力して動作させることも可能です。

・「関連キーワード一括」にチェックを入れると、現在取得できているキーワードリスト全てを選択します。（取得しているキーワードの件数によっては処理の完了まで時間がかかることがあります。）

・興味があるキーワードに任意でチェックをつけ、調べたいワードだけの関連ワードを取得することもできます。基本的にはこの方法をお奨めいたします。

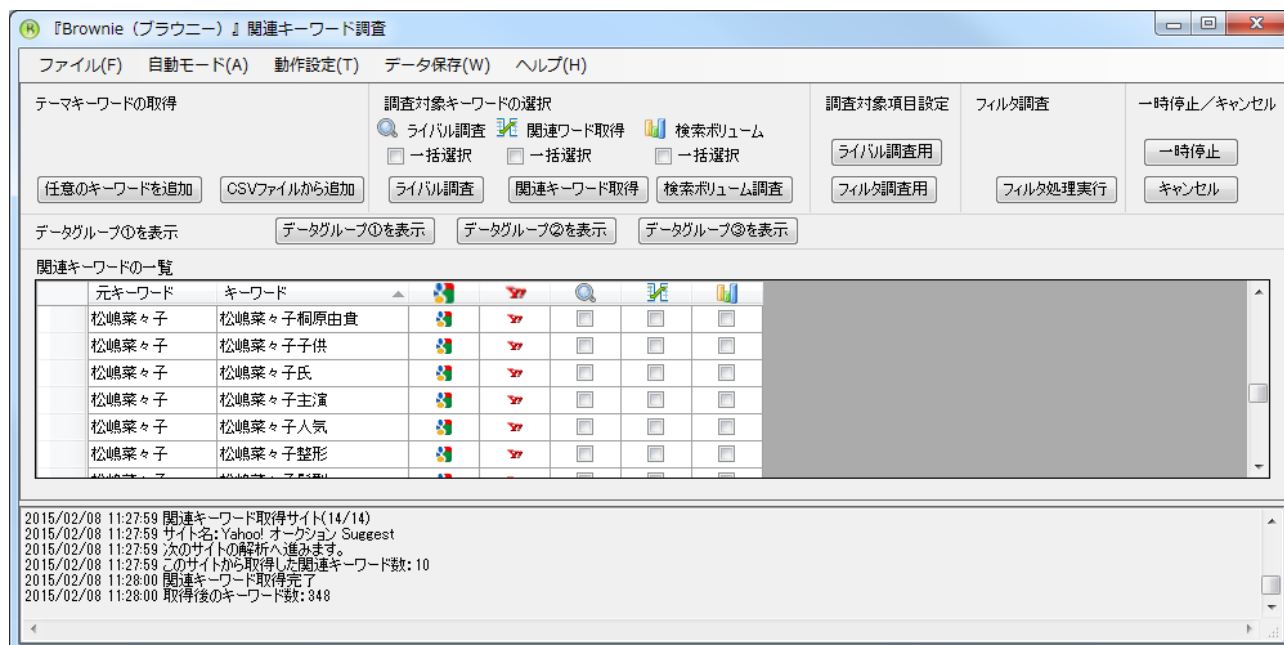
関連キーワードを取得する「元のキーワード」が決定したら、「関連キーワード取得」ボタンをクリックしてください。

次ページへお進みください。

下図のように別ウィンドウが立ち上がり、関連キーワードの取得が始まります。

※選択したキーワードの数によっては、関連キーワード取得完了まで非常に時間がかかることがあります。

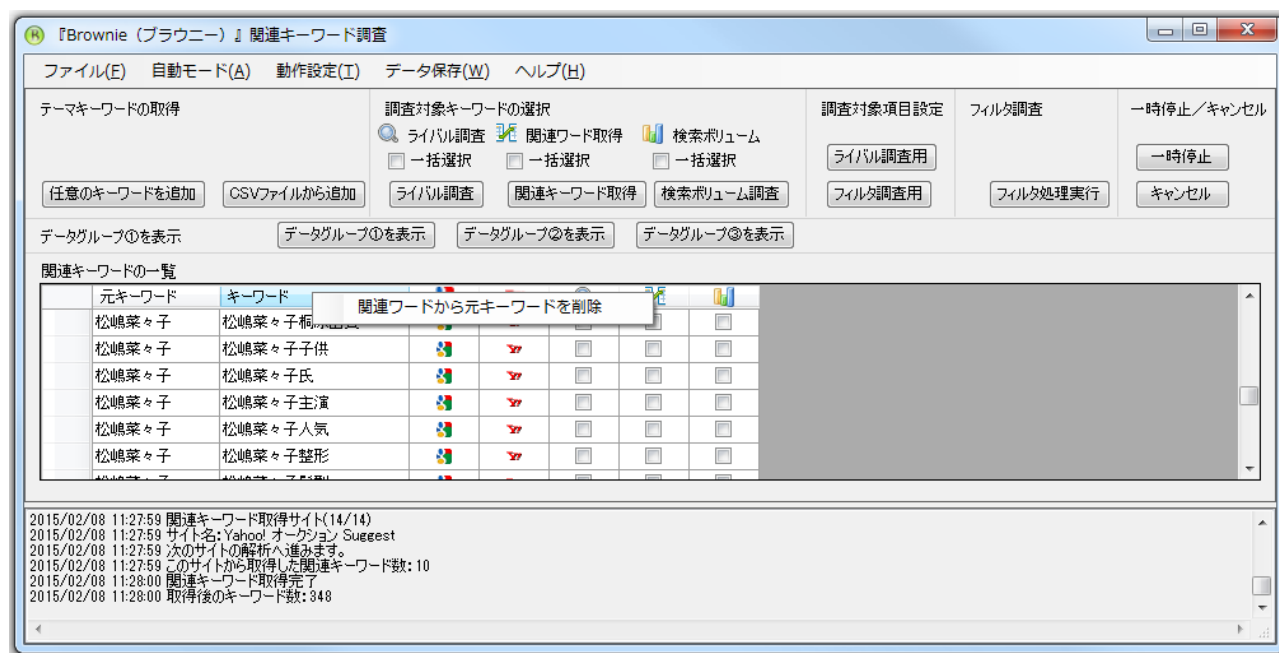
作業のスケジュールに合わせ、選択数等を調整してください。

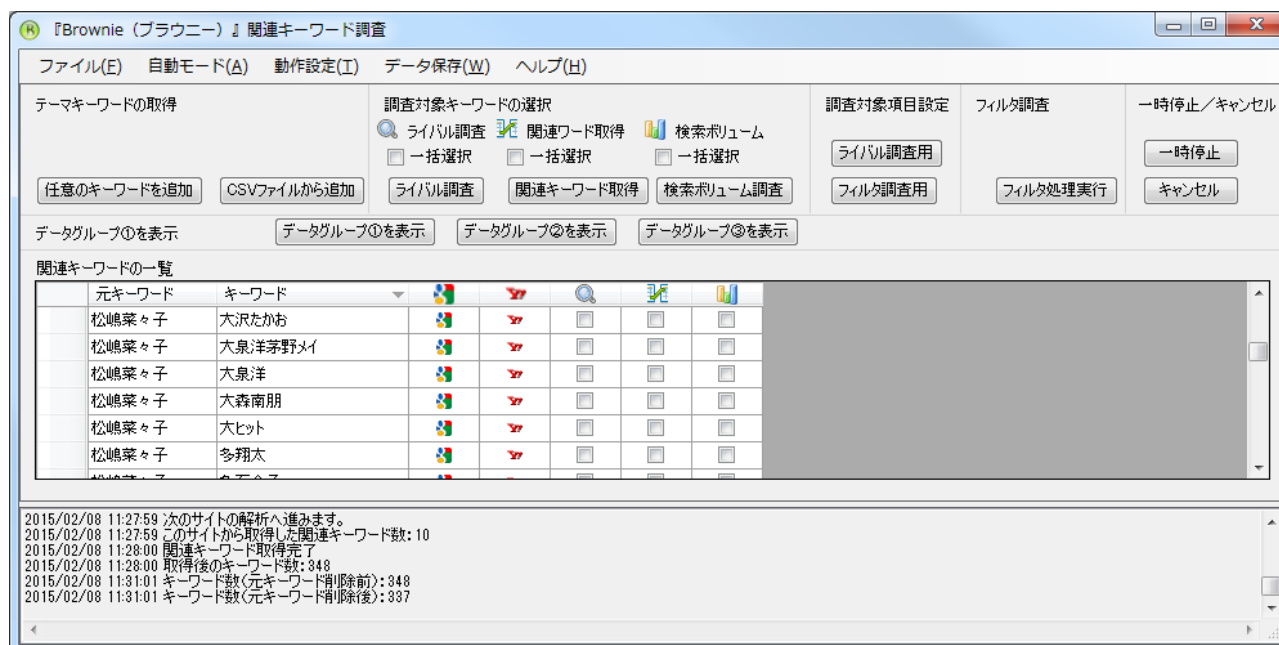
●取得した関連キーワードから「元キーワード」を一括削除する方法について

関連キーワードを取得した際、『Brownie（ブラウニー）』は非常に多くの取得先からデータを拾ってくるため、取得元によっては下図のように「関連キーワードにも「元キーワード」が重複して含まれている」ことがあります。

この、関連キーワード内に含まれている「元キーワード」を一括削除する機能を追加いたしました。

次ページへお進みください。

下図のように、「キーワード」のカラム名の上で「右クリック」すると、

「関連ワードから元キーワードを削除」というダイアログボックスが立ち上がります。

このダイアログボックスをクリックすると、取得した関連キーワードから、

下図のように「元キーワード」を一括で削除できます。

※関連キーワードから「元キーワード」を削除した際に、

「他の情報取得元から取得したキーワードと全く同一」のワードとなったものは

重複削除機能により自動で削除されます。上図の例では 348 件から 337 件に減少しました。

●取得したキーワードをリストから削除するには

自動取得で取得したり、関連キーワードとして取得したものの中には、

フィルタ調査等を行うまでもなく、「明らかに不要」というものも含まれていると思います。

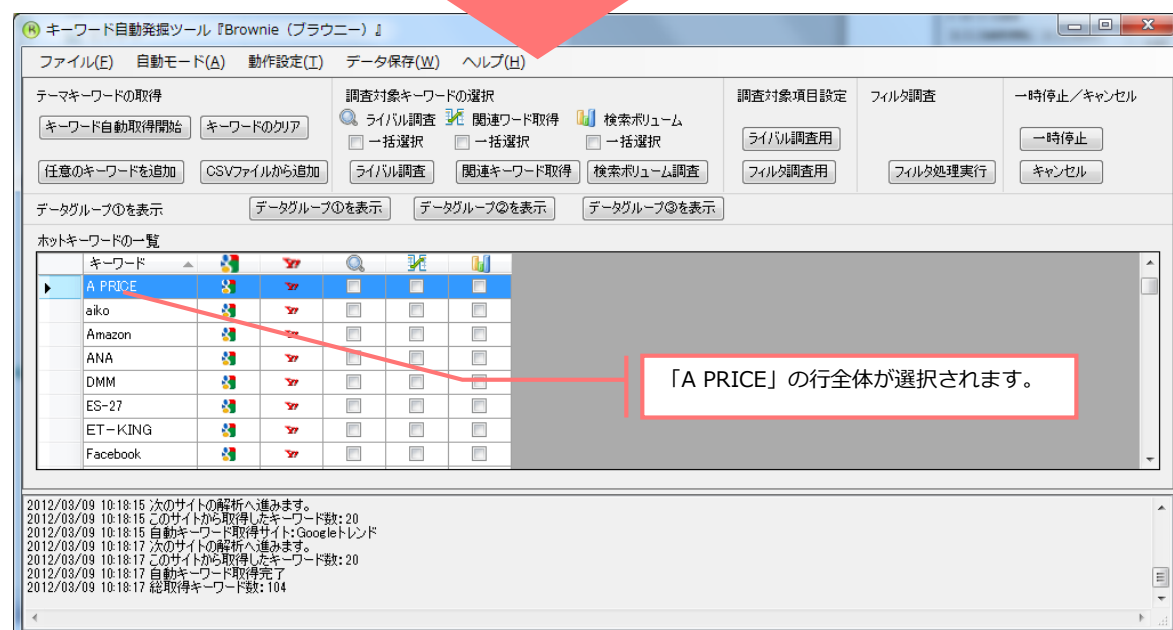
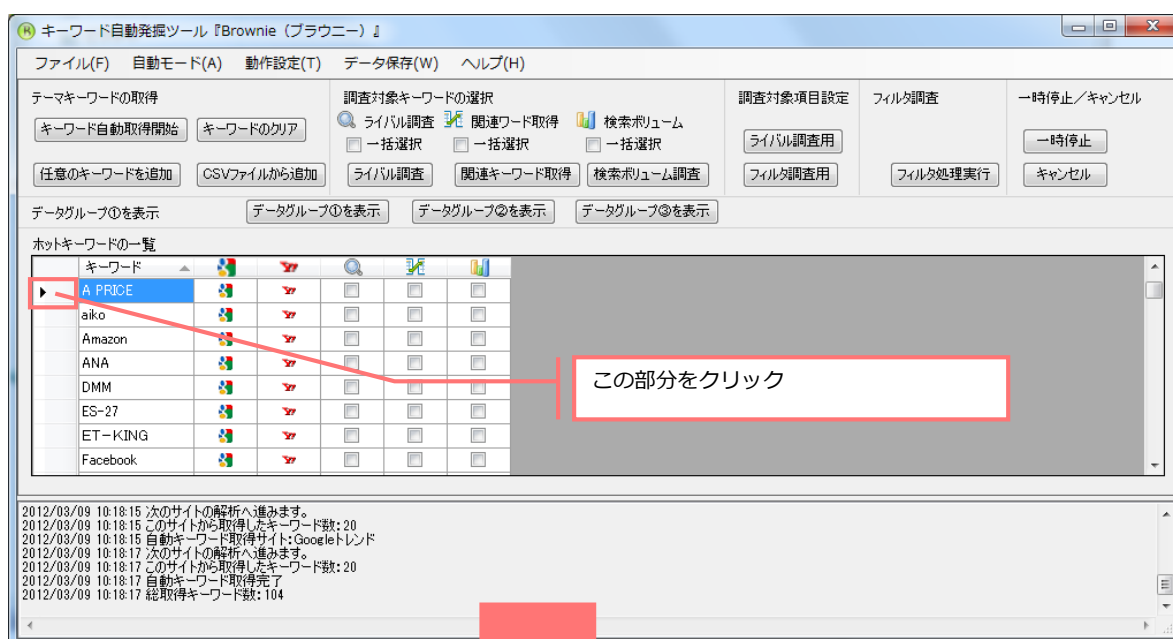
調査対象を絞り込み、作業をより効率化するために、取得したキーワードリストを確認した上で、

不要なキーワードがあった場合に削除することができます。

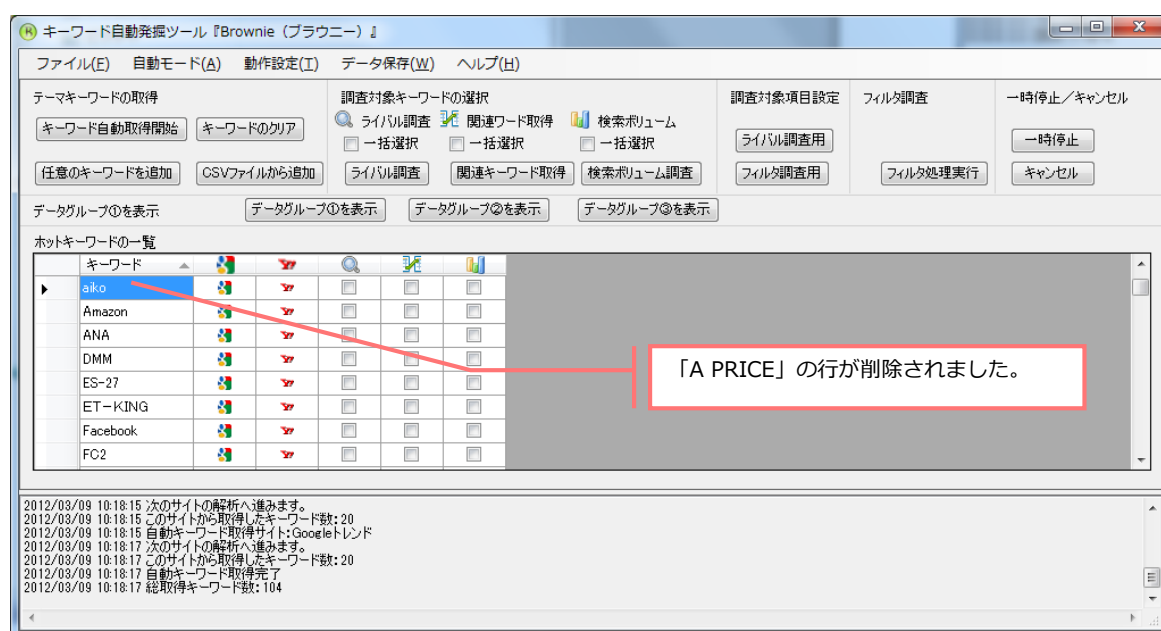
★不要キーワードの削除手順

下図のように、対象となるキーワードの一番左の列をクリックします。

この部分をクリック

「A PRICE」の行全体が選択されます。

次ページへお進みください。

「Delete」キーを押します。（ノートパソコンでは、「Del」等の表記になっている場合があります）

この作業で指定したキーワードの行を削除します。

★キーワード選択の際に便利な操作方法

操作	結果
「Ctrl」キーを押しながら対象となるキーワードの一番左の列をクリック	複数行を選択
「Shift」キーを押しながら、範囲の対象となる最初の行のキーワードの一番左の列と最後の行のキーワードの一番左の列をクリック	指定範囲のキーワードを選択
キーワードの一番左の列をクリックしてから、「Ctrl」＋「Shift」キーを押しながら上矢印を押す	選択したキーワードから上の列をすべて選択
キーワードの一番左の列をクリックしてから、「Ctrl」＋「Shift」キーを押しながら下矢印を押す	選択したキーワードから下の列をすべて選択

このように、取得できたキーワードの中から、調査対象に進むキーワードだけに絞り込むことが可能です。

★ver1.3 より、右クリック機能が実装されました。

本バージョンより、操作性向上のため右クリックでメニューを呼び出せるようになりました。

キーワードを選択した後右クリックでメニューが開きます。

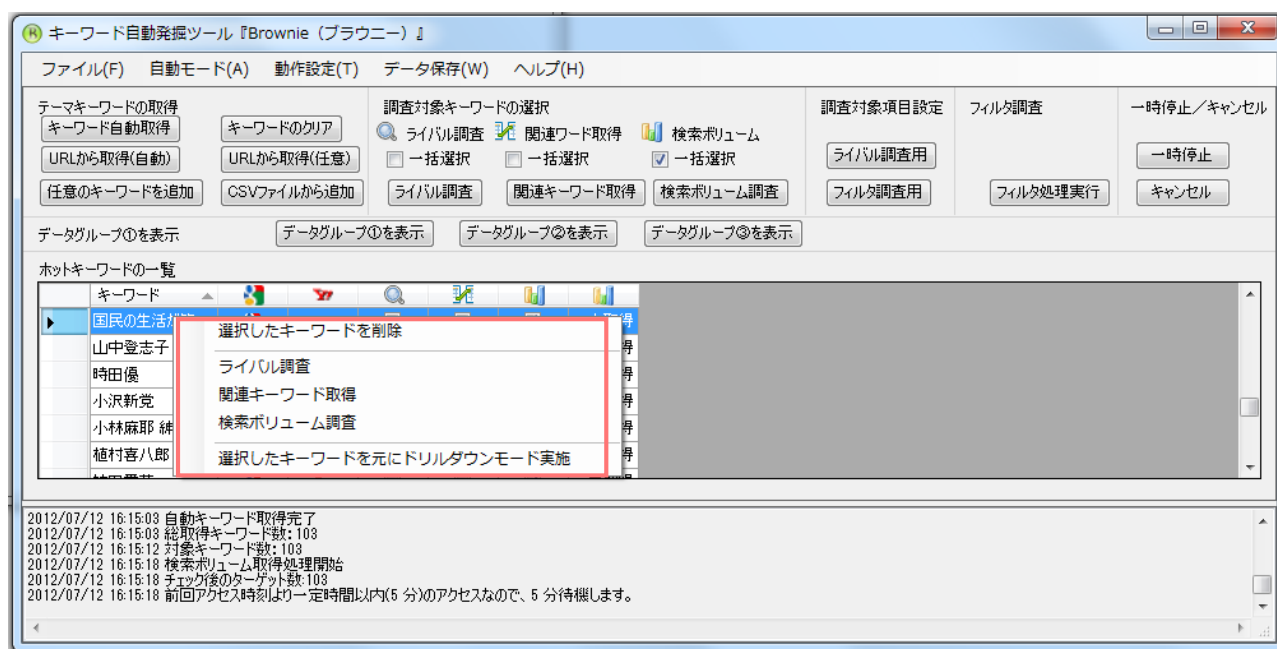
・選択したキーワードを削除

・選択したキーワードからライバル調査をスタート

・選択したキーワードから関連キーワードを取得

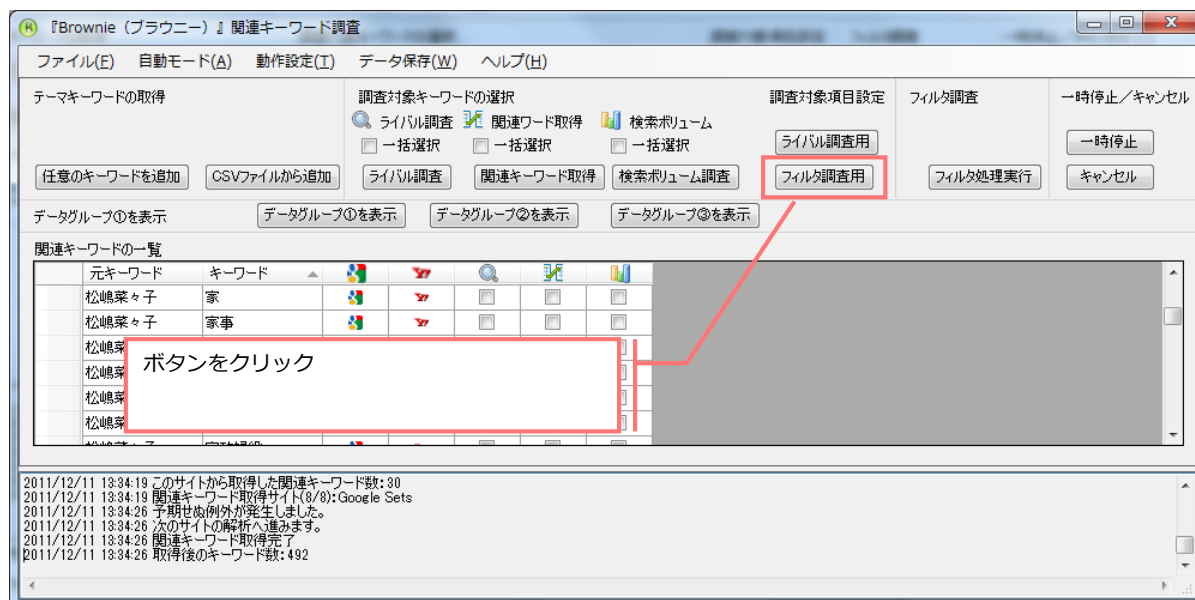
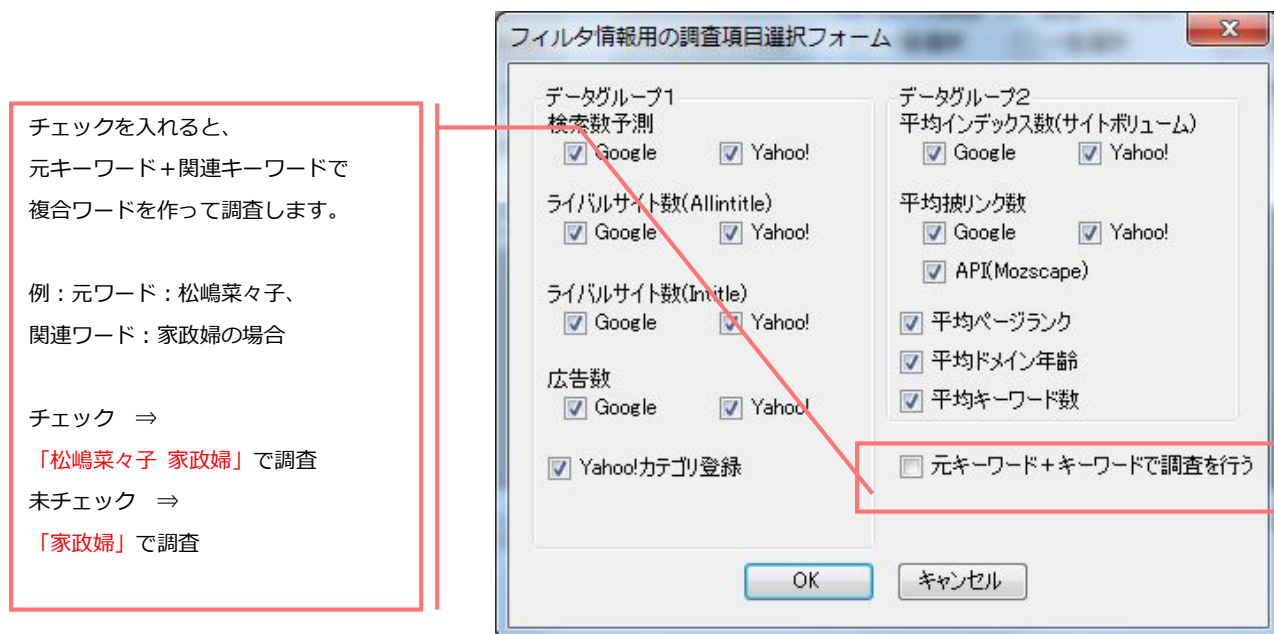
・選択したキーワードの検索ボリュームを取得

・選択したキーワードからドリルダウンモードをスタート

以上の操作を行えます。

●フィルタ機能を使ったキーワード解析

取得した関連キーワードに対して自動でライバル調査を行い、「検索上位 10 サイトの平均データ」を取得して表示します。様々なフィルタ条件を指定し､「自分の現状の力で上位表示を実現しやすいキーワードリスト」を取得することを目的とした動作モードです。

今回のバージョンアップで、ユーザーが任意に調査項目を設定できるようにバージョンアップしています。

「調査対象項目設定」欄の「フィルタ調査用」ボタンをクリックしてください。

別ウィンドウで調査項目設定画面が立ち上がります。

任意の調査項目を選ぶことが可能です。不要なものがあればチェックボックスを外すことで調査を高速化できます。

※『Brownie ライト版』では取得できない項目があります。

★★ライバルサイト数（Allintitle）とライバルサイト数（Intitle）について★★

多くの皆様から『Brownie（ブラウニー）』の機能アップ要望をいただき、
「ライバルサイト数」調査方法について、2 種類の方法で調査可能なように機能向上を行いました。

●「allintitle」コマンドで取得できるライバルサイト数
ライバルサイト数調査の際に、調査対象のキーワード全てを「title タグ」内の情報に含んだウェブページの数を集計します。いわゆる「完全一致」でタイトルタグ内にキーワードが含まれている場合のみを集計します。

●「intitle」コマンドで取得できるライバルサイト数
ライバルサイト数調査の際に、調査対象のキーワードの組み合わせのいずれかを「title タグ」に含んだ
ウェブページの数を集計します。

複数のキーワードを含んだ関連ワードを入力した場合は以下の方法で調査を行います。

入力例：「ダイエット　短期間」の場合
・ダイエット
・短期間
・ダイエット　短期間
のいずれかを「title タグ」に含んだウェブページの数を集計します。
条件としては部分一致、となります。

調査するキーワードの特性により、参考とする指標をどちらとするか、ニーズに合わせて使い分けを
行うことができます。

調査対象項目の選択が終了したら「フィルタ処理実行」ボタンをクリックしてください。

フィルタ設定画面が立ち上がります。

『Brownie（ブラウニー）』フィルタ条件設定

Google			Yahoo!		
検索数予測	0	以上	検索数予測	0	以上
ライバルサイト数(Allintitle)	0	以下	ライバルサイト数(Allintitle)	0	以下
ライバルサイト数(Intitle)	0	以下	ライバルサイト数(Intitle)	0	以下
広告数			広告数		
0 以上	0	以下	0 以上	0	以下
平均インデックス数	0	以下	平均インデックス数	0	以下
平均被リンク数	0	以下	平均被リンク数	0	以下
平均被リンク数(API)	0	以下			
平均ページランク	0	以下	平均キーワード数	0	以下
平均ドメイン年齢	0	以下	Yahoo!カテゴリ登録数	0	以下

上位10サイトのデータを取得する検索エンジン　Google　Yahoo!

常に最新の情報を取得する

実行　フィルタ解除　キャンセル

※『Brownie ライト版』では取得できない項目があります。

様々な絞り込みができます。条件を設定すると、「条件を満たすデータ」のみがリストとして表示されます。慣れるまでは「検索予測数（Yahoo）を 0 以上」等、データが多く表示されるように設定し、たくさんのデータが表示された中で並べ替えや絞り込みを行う方が使いやすいと思います。上位 10 サイトのデータを取得する検索エンジンは「Yahoo!」を選び、負荷を分散させる方が動作が安定します。

※「広告数」をフィルタ条件に取り入れる際の注意事項

広告数の設定条件のみ、「以上と以下」があります。

「以上」に入れた数字より、「以下」に入れた数字の方が小さいと、論理矛盾が起こり、該当するキーワードなし、という判定結果になります。広告数の設定をされる場合は、必ず「以上」＜「以下」と数字を設定してください。

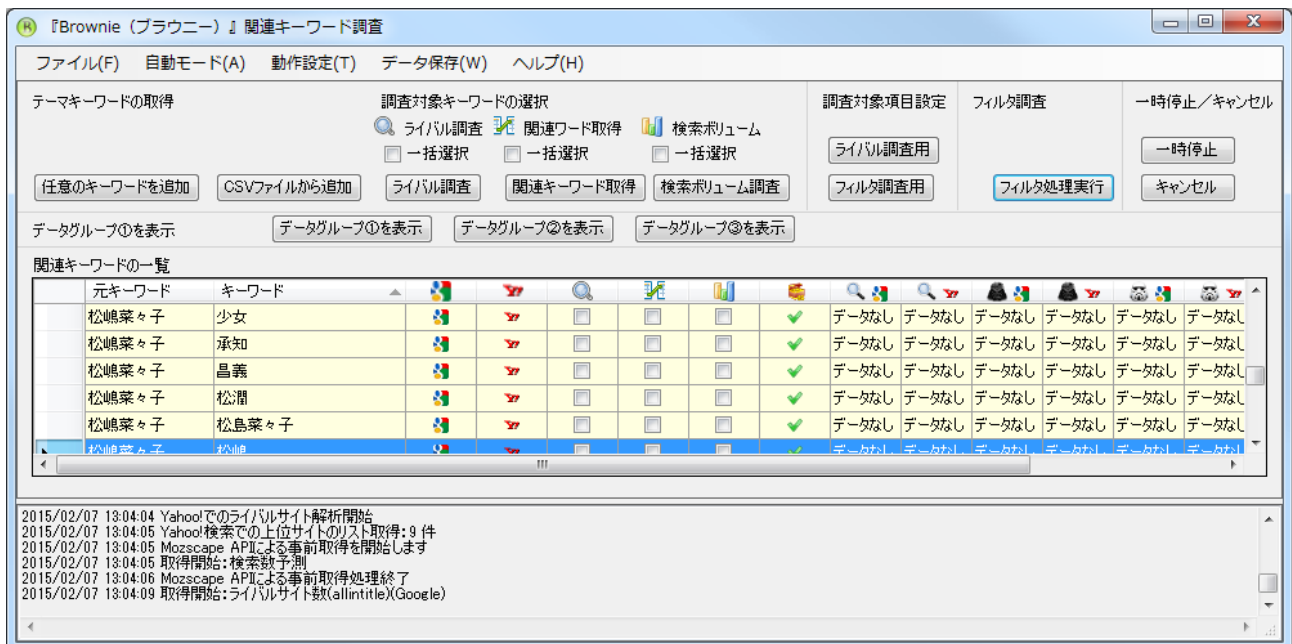
例）10 以上 50 以下

※※ご注意ください。※※

今回の仕様変更により、ユーザーが任意に調査対象項目を選択できるようになっています。

ver1.2 より、**「調査対象項目の選択で、チェックを付けた項目」**以外の項目はグレーアウトし、操作できないように機能改善されています。

設定を行ったら、「実行」ボタンをボタンをクリックします。

初期設定②で設定を行った動作間隔に従い、『Brownie』がキーワード調査に入ります。

本バージョンより、フィルタ情報取得時の表示方法について、よりユーザビリティを向上できる様仕様変更を実施いたしました。

【仕様変更】

・フィルタ表示方法を変更

　フィルタ処理実行時、状況に応じて対象キーワード行の色が変化する

　　調査対象個目に未調査項目がない（全調査項目が取得済み）

　　　フィルタ条件を満たす　　　：薄いブルー

　　　フィルタ条件を満たさない：なし

　　調査対象個目に未調査項目がある（いずれかの調査項目が未取得または取得失敗）

　　　フィルタ条件を満たす　　　：薄い黄色

　　　フィルタ条件を満たさない：薄いグレー

　フィルタ条件を満たす場合、画像カラムにチェック画像が表示される

事前の作業で取得したワード数によっては完了までに非常に時間がかかるケースがあります。
長時間の連続運転を前提とした、本取扱説明書の「推奨設定」の場合、大体 24 時間で 450 キーワード程度のデータ分析が完了します。

少ないキーワードに対してデータ分析をかける場合は、連続動作時間を長めに設定して早く終わらせる方法をとることも可能ですが、取得データの精度と安定度では、推奨設定をお奨めいたします。

なお、上図のように、データの取得動作中であっても、各カラム名をクリックすることで、
データを「昇順」、「降順」で並べ替えることができます。
小さい画面のパソコンでもデータが見やすくなるように、調査データの画面表示が 3 グループに
分かれています。
調査中でも、「データグループ①を表示」、「データグループ②を表示」、「データグループ③を表示」
ボタンで表示データを切り替えることができます。
取得中のデータを確認し、ターゲットにしたいフィルタ条件
（一例としてライバルサイト数が 100 程度、広告数が 10 以上等）にあてはまるキーワード群が
溜まっているかどうか確認できます。

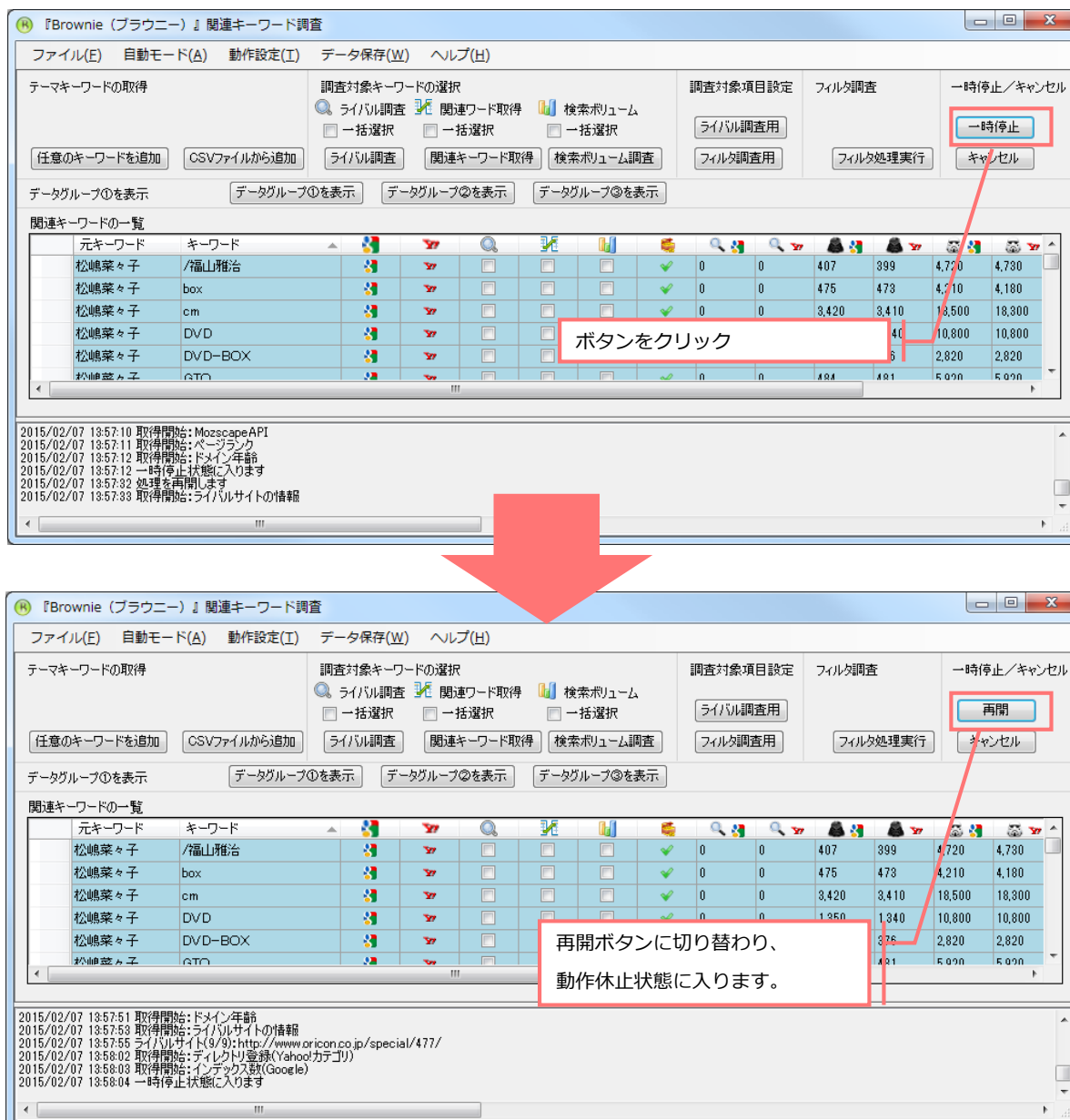
●一時停止機能

大量のキーワードについてフィルタ処理をかけたり、関連キーワードの調査を行っている場合、長時間にわたってツールの動作を連続させながら、途中でそれまでにできた成果物を「アウトプット」したいというニーズもあると思います。

そういう場合は「一時停止」ボタンをクリックしてください。

下図のように動作を停止し、「一時停止」ボタンが「再開」ボタンに切り替わります。

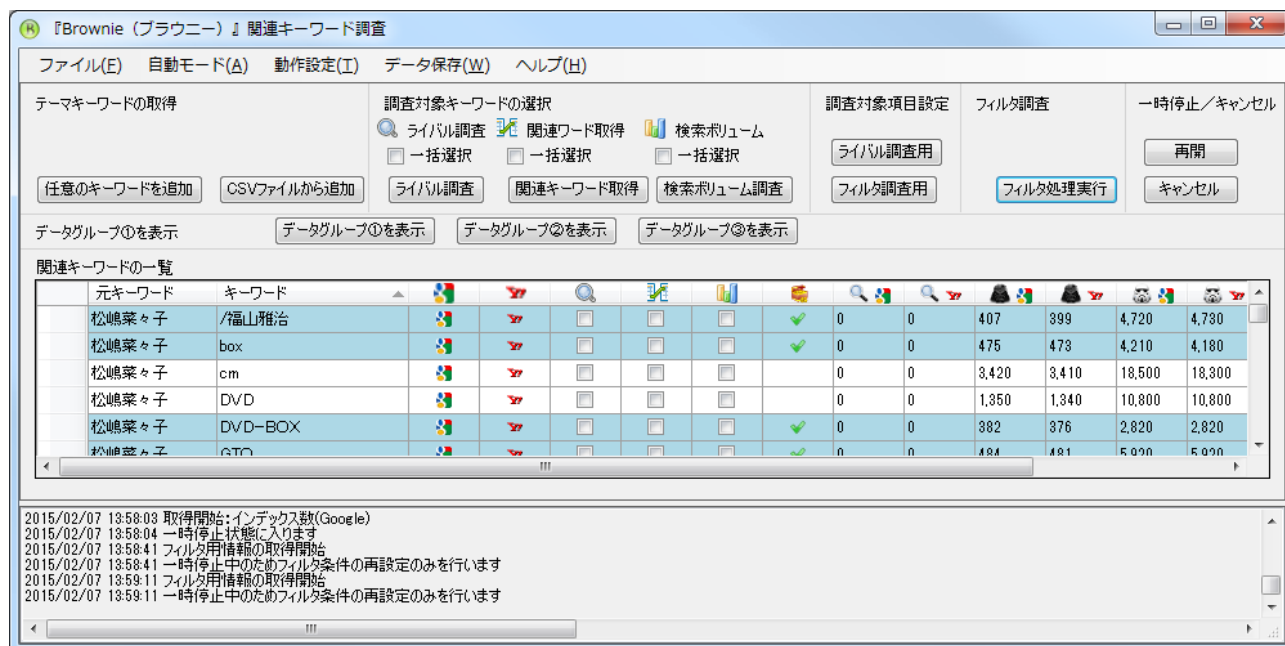
ボタンをクリック

再開ボタンに切り替わり、
動作休止状態に入ります。

この状態で、それまでに取得したデータを出力したり、並べ替えを行ってキーワードを抽出したりできます。

※一時停止ボタンは「インターバル中（待機時間中）」にクリックしてください。

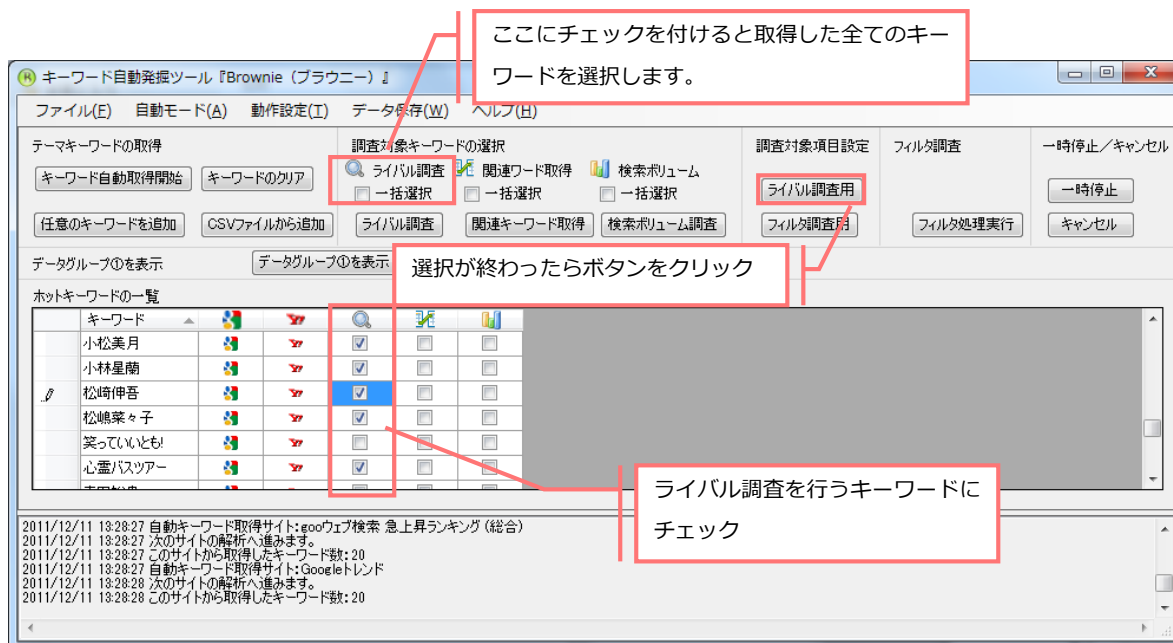
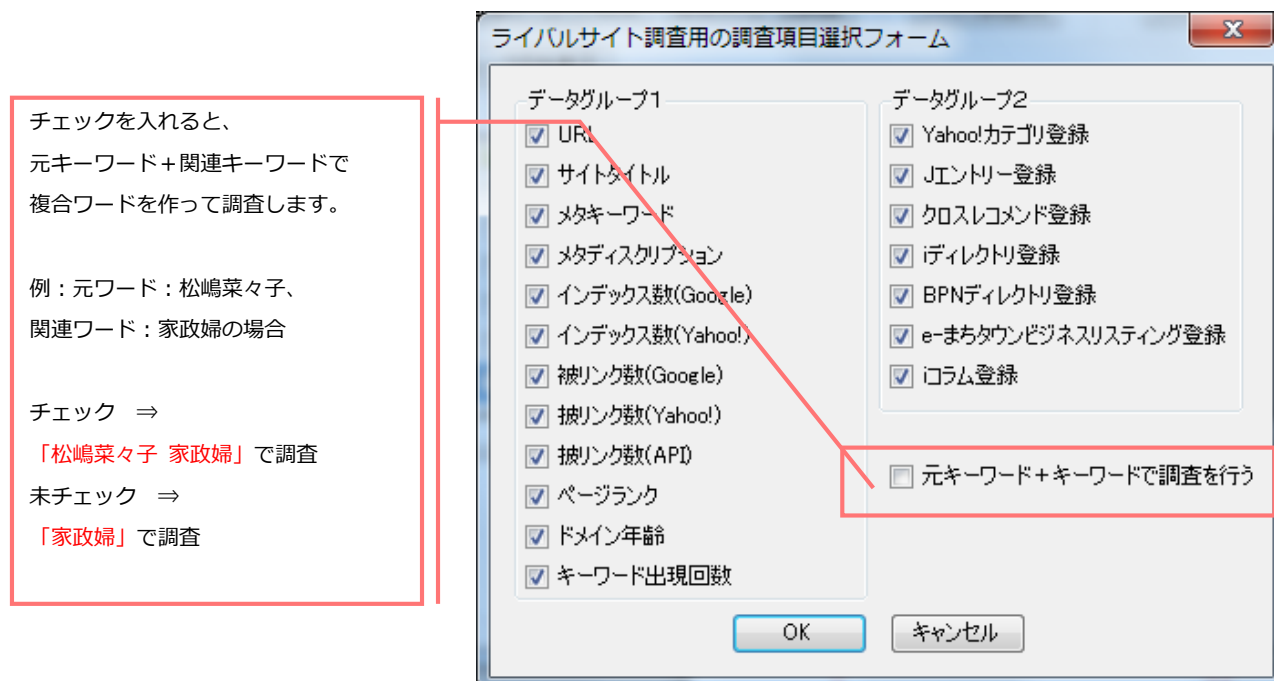
※一時停止中にフィルタを変更すると、下図のように合致条件が変更されます。

下図は、「ライバルサイト数（allintitle）5,000 以下」の条件で動作をスタートし、

一時停止時にフィルタ条件を「ライバルサイト数（allintitle）1,000 以下」に変更した場合のものです。

動作を開始した後、「ちょっと条件が甘すぎた」、また逆に「条件が厳しすぎた」など、

変更を加えたい場合はいつでも操作が可能です。

●特定キーワードに対するライバル調査

特定のキーワードについて、上位表示されているサイトがどのような品質を持っているのか、またどのようなサイトなのか（ショッピングモールなのか、ブログなのか、比較サイトなのか、等）を詳細に分析するための動作モードです。下図のようにライバル調査を行いたいキーワードにチェックを入れて選択してください。選択が完了したら「調査対象項目設定」の「ライバル調査用」ボタンをクリックしてください。

別ウィンドウで調査対象項目設定画面が立ち上がります。

任意の調査項目を選ぶことが可能です。不要なものがあればチェックボックスを外すことで調査を高速化できます。

※『Brownie ライト版』では取得できない項目があります。

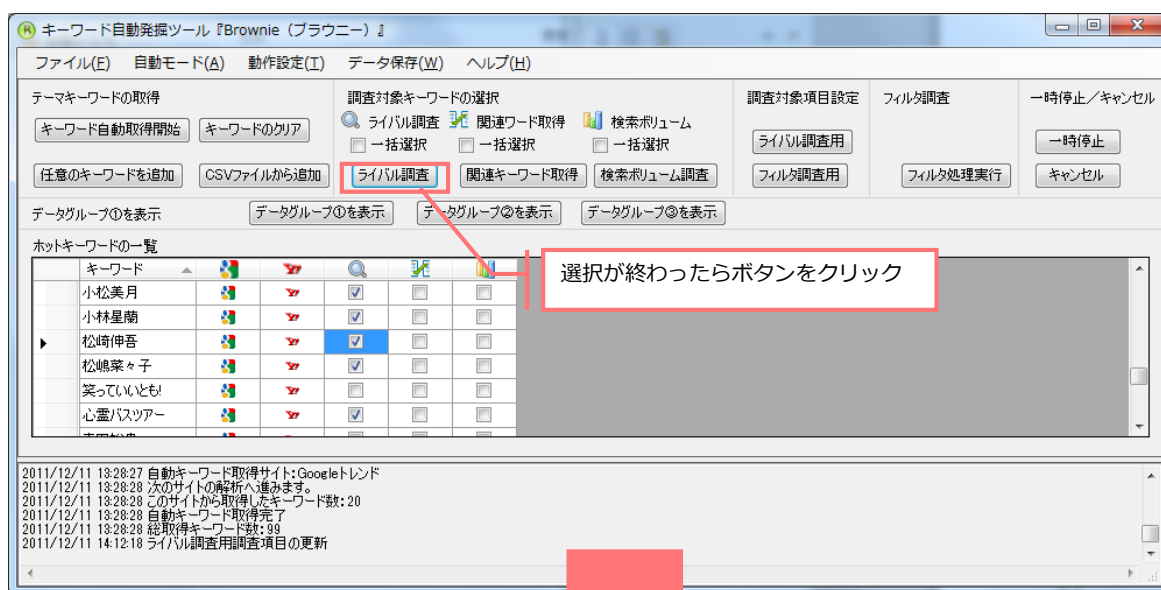
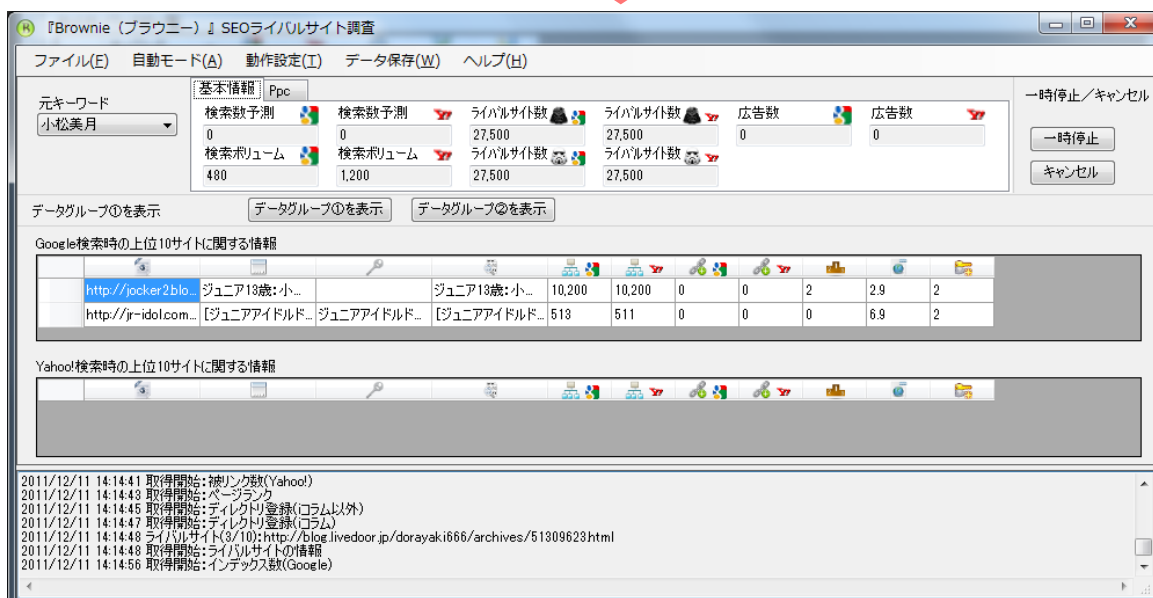
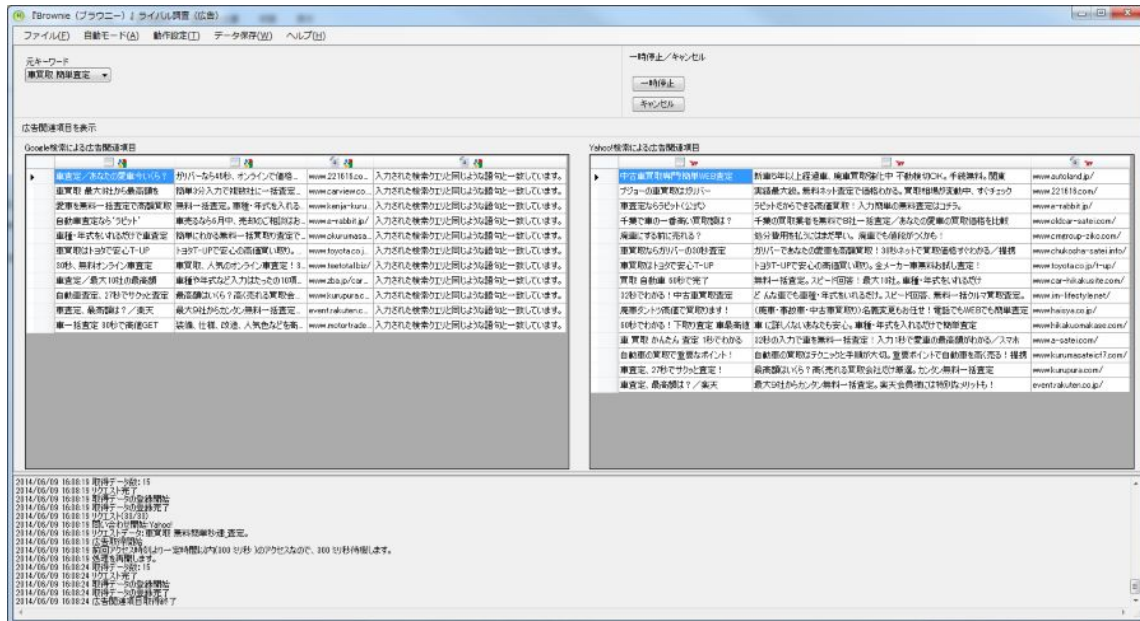
調査対象項目の選択が終了したら「ライバル調査」ボタンをクリックしてください。

別ウィンドウが立ち上がり、ライバル調査の設定画面が立ち上がります。

※『Brownie ライト版』では「PPC 広告出稿データ」、「両方」の選択項目は表示されません。

取得したいデータ種別を選択し、「OK」をクリックしてください。

初期設定②で設定を行った動作間隔に従い、『Brownie』がライバル調査に入ります。

事前の作業で取得したワード数によっては完了までに非常に時間がかかるケースがあります。

●SEO 上位サイト　ライバル調査画面

●PPC 広告出稿データ　ライバル調査画面

ライバル調査で取得できる各サイトの項目は以下の通りです。

※個別サイトの調査項目は任意選択できます。

●画面上部に表示する共通項目

・検索予測数（Yahoo!/Google）

・ライバルサイト数（Yahoo!/Google）

・広告数（Yahoo!/Google）

・競合性（Yahoo!/Google）

・CPC（Yahoo!/Google）

・広告シェア（Google）

・推定平均掲載順位（Google）

・推定クリック率（Google）

・推定インプレッション数（日）（Google）

・推定クリック数（日）（Google）

・推定コスト（日）（Google）

※PPC 調査データは Brownie ライト版では取得できません。

●データグループ①

・URL

・サイトタイトル

・メタキーワード

・メタディスクリプション

・インデックス数（サイトボリューム）

・被リンク数

※ver1.4 より OpenSiteExplorer の被リンク数を取得できるようになりました。

・ページランク

・ドメイン年齢

・メタタグ内のキーワード出現回数

・OpenSiteExplorer 総リンク数

・OpenSiteExplorer 検索順位上昇期待スコア（ページ、ドメイン）

●データグループ②（有料カテゴリ登録状況）

・Yahoo!カテゴリ登録状況

・クロスレコメンド登録状況

・i ディレクトリ登録状況

・e-まちタウンビジネスリスティング登録状況

●●PPC 広告出稿状況データ

・広告タイトル（Yahoo!/Google）

・広告文（Yahoo!/Google）

・表示 URL（Yahoo!/Google）

・広告のマッチタイプ（Google のみ）

※『Brownie ライト版』では取得できない項目があります。

取得項目については 18 ページをご確認ください。

詳細な SEO 関連データやライバルの PPC 広告出稿状況データを労せず取得することが可能です。
SEO や PPC 広告で上位表示を取りたいキーワードに対し、具体的な対策を立てる際に有効なデータを獲得できます。

●検索ボリュームデータ取得と PPC 調査データの取得

Yahoo!キーワードアドバイスツール、GoogleAdwords キーワードツールを使用し、「検索ボリューム調査」と「PPC 広告調査」を行うことができる動作モードです。

様々なフィルタ条件でデータを取得する中で、分析データに含まれる「検索数予測」はニッチなキーワードについては情報力不足な面があり、「需要予測」を詳細に行うためのデータを補完します。

・ライバルサイトが少なく

・広告出稿はそこそこされている「稼ぎ」系のキーワードであり

・あなたが適切なコンテンツを返せそうだと感じた

「稼げるニッチなキーワード」の候補について、果たしてどれほどの検索需要があるのか、というデータを追加することができます。

※検索ボリューム調査は一連のフィルタ分析やデータ取得とは別に独立して動作します。

・自動取得キーワード

・関連キーワード

・フィルタ分析データ

・フルオートモードでの取得データ

・ドリルダウンモードでの取得データ

いずれのデータに対しても調査は可能です。

※PPC 広告調査は Brownie ライト版では行うことができません。

次ページへお進みください。

★検索ボリューム取得データの仕様について

『Brownie（ブラウニー）』が取得する検索ボリュームのデータは以下の仕様に基づいています。

・情報取得元：Yahoo!リスティングキーワードアドバイスツールの場合

・定義：完全一致、キーワード拡張なし

※Yahoo!リスティングキーワードアドバイスツールの画面上で設定を行った場合は
下図の設定で取得できるデータとなります。

マッチタイプ ? ◯ 部分一致 ◉ **完全一致**

キーワードを拡張 ? ☐ 拡張する

抽出結果に含めたくない語句 ? ◉ **設定しない** ◯ 設定する

・Yahoo!リスティングキーワードアドバイスツールが検索ボリュームデータを持たない場合：0 とみなす

※一例として、下図のように Yahoo!リスティングキーワードアドバイスツールがボリュームデータを持たない場合、『Brownie（ブラウニー）』では検索ボリュームが 0 となります。

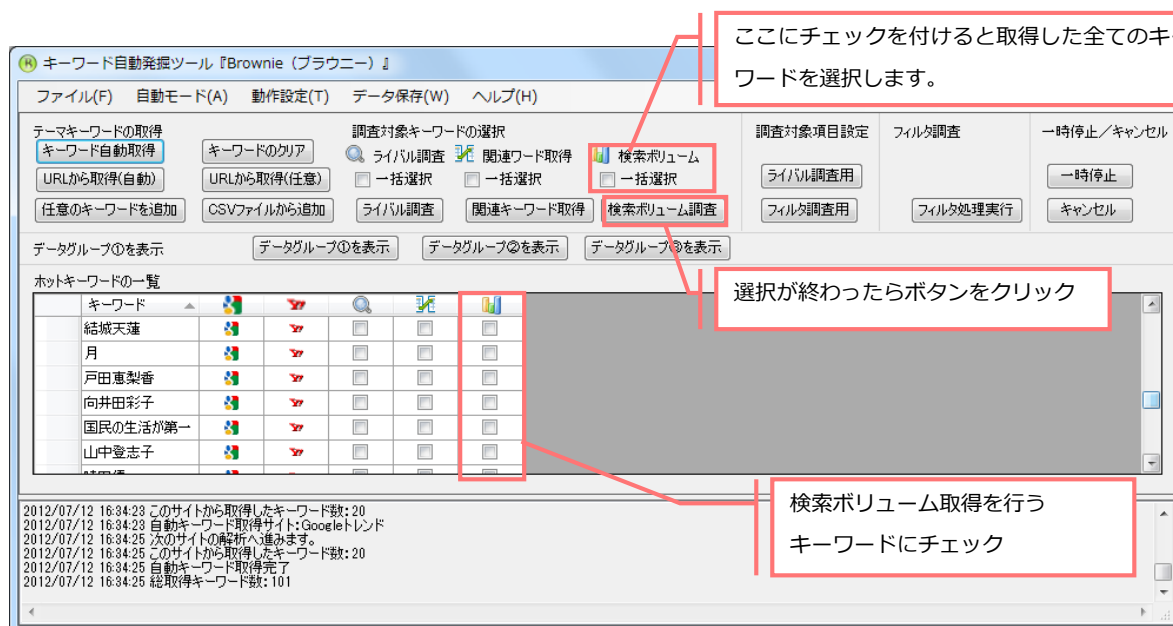
次ページへお進みください。

★検索ボリュームのデバイス選択について

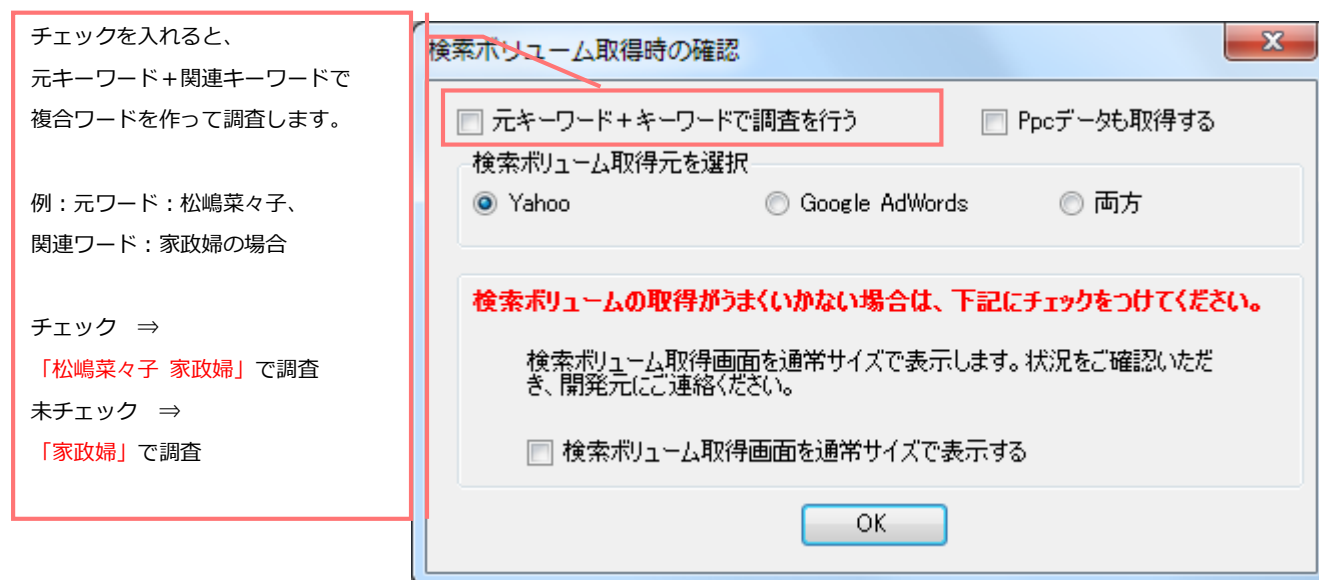
Ver1.3 より、検索ボリュームデータ取得の際、デバイス（PC、モバイル、スマートフォン・タブレット）を選択できるようになりました。

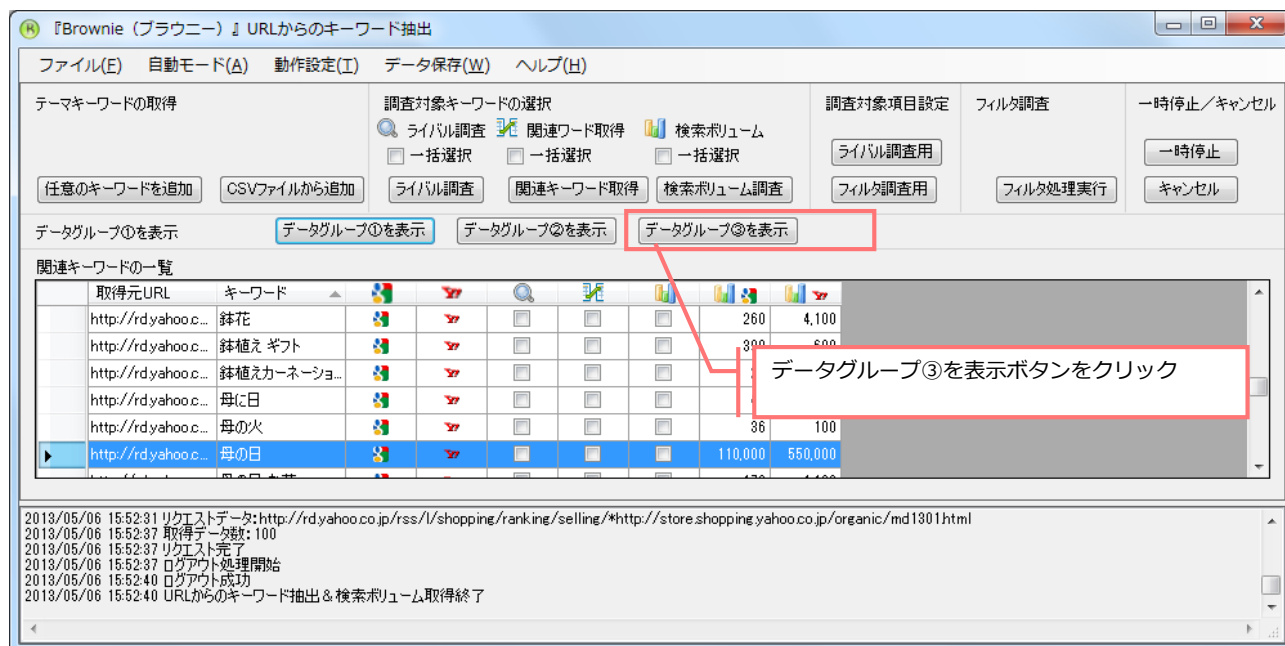
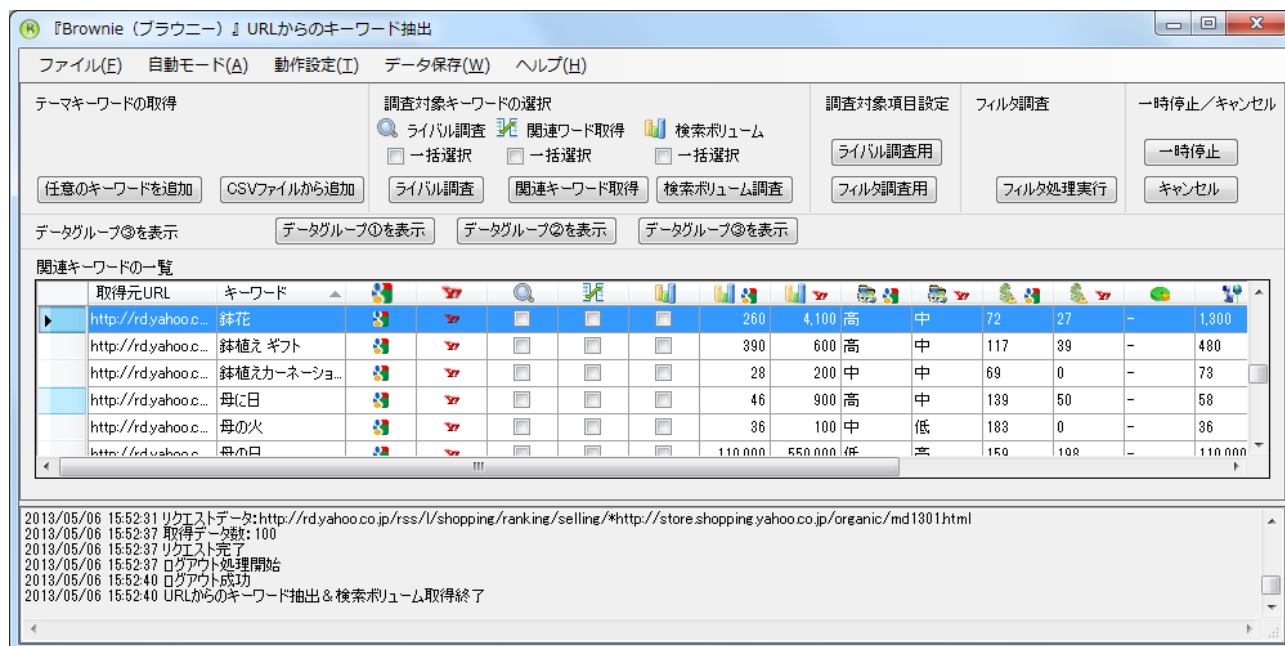
ニーズに合わせて初期設定⑥の登録内容を変更してください。

※ボリュームデータ取得実行前に設定を確定させてください。

※1 度の動作で 50 キーワードまでのデータをリクエストすることができます。それ以上のキーワードを選択している場合には、初期設定②で設定した、検索ボリューム調査の動作間隔に従って調査を繰り返します。

検索ボリュームを取得するデータに対してチェックをつけ、「検索ボリューム調査」ボタンをクリックしてください。

「検索ボリューム調査」ボタンをクリックすると、下図のようなダイアログボックスが表示されます。

検索ボリュームの取得元を選択してください。

取得できたキーワードだけで調査するか、元キーワードとの複合キーワードで調査するかを選択してください。また、PPC 広告の調査データを同時に取得する場合は「PPC データも取得する」にチェックをつけてください。選択が完了したら「OK」を押してください。

PPC 広告調査データを取得した場合は、取得済みデータの「データグループ③を表示」ボタンをクリックしてください。

下図のように、PPC 調査データが表示されます。

●検索ボリュームデータ取得と CSV インポートによる Brownie への取り込み

Brownie では、Yahoo!キーワードアドバイスツール、GoogleAdwords キーワードツールを使用し、
検索ボリュームの取得を行っています。しかしながら、度重なる情報取得元の仕様変更により、
検索ボリュームの取得機能が正常に働かなくなることがあります。
アップデートを実施するまでの間、検索ボリューム取得機能が使用できなくなってしまうことへの対策と代替え策として、検索ボリュームデータの CSV インポート機能を実装いたしました。

ブラウザで Yahoo!キーワードアドバイスツール、GoogleAdwords キーワードツールを使用して
「検索ボリューム調査」を行い、取得したデータを Brownie に取り込むことができます。
キーワードの「需要予測」を詳細に行うためのデータを補完します。

検索ボリュームデータを基にすることで、需要が元々ありそうなキーワードの中から、
・ライバルサイトが少なく
・広告出稿はそこそこされている「稼ぎ」系のキーワードであり
・あなたが適切なコンテンツを返せそうだと感じた
キーワードの候補を見つけることができます。

まずは Yahoo!キーワードアドバイスツール、Google キーワードプランナーから検索ボリュームデータを取得する方法について解説します。

次ページへお進みください。

★Yahoo!キーワードアドバイスツールから検索ボリュームデータを取得する

Yahoo!ビジネスセンターにログインしましょう。

アカウント取得の手順で取得した、

・Yahoo!ビジネス ID

・パスワード

で以下の URL からログインしてください。

https://login.bizmanager.yahoo.co.jp/login

次ページへお進みください。

右側の広告管理ツールのリンクをクリックします。

YAHOO! JAPAN ビジネスセンター

Yahoo! JAPAN - ヘルプ

トップ　目的から探す　広告　ストア出店　予約サービス　クラウド　その他　例：広告 掲載　サイト内検索

Yahoo!プロモーション広告をはじめよう
お悩み解決!
どうやって広告を作成したらいいの？
入金方法が分からない…
広告掲載したその後は？
2ステップで広告掲載！　詳しくはこちら

Yahoo! JAPAN eコマース革命、始動!
初期費用
毎月の固定費
売上ロイヤルティ
これ全部無料!
詳しい出店のご案内はこちら

経営者のみなさま
リピーターを増やしませんか?

飲食店様必見 YAHOO! JAPAN 予約 飲食店
ネット予約で集客力UP!
登録・利用・手数料すべて無料!
お申し込みはこちら

ピックアップサービス
- 集客・売上アップを手助けする　【検索連動型広告 スポンサードサーチ】
- ネットショップ運営の課題を解決！　Yahoo! JAPANがおすすめする厳選パートナーをご紹介
- ネットショップの業務効率化に役立つ、ASPサービスのご紹介
- 【2014年3月末まで無料】正社員・契約社員の募集をお考えな

このリンクをクリック

サービス一覧

自社のサイトに集客したい	商品を販売したい	インターネット環境を整えたい
広告サービス一覧	Yahoo! JAPANでネットショップ開業	Yahoo!クラウド
スポンサードサーチ		データセンター

Yahoo! JAPANビジネスID
［ログアウト］　登録情報
Yahoo! JAPAN IDと連携する
ご利用中のサービス
Yahoo!プロモーション広告
・広告管理ツール　管理
法人情報管理
・法人・従業員情報
・サービス利用情報

下図の画面に遷移しますので「広告管理：スポンサードサーチ」のタブをクリックしてください。

次ページへお進みください。

下図の画面から、「ツール」⇒「キーワードアドバイスツール」を選択してください。

下図の画面へ遷移します。キーワードは一度に最大 50 個まで登録できます。

1 行にキーワードを 1 つずつ、改行して入力してください。

マッチタイプは「部分一致」、「キーワードを拡張する」にチェックを入れると関連するキーワードの検索ボリュームを取得できます。

「ダイエット」、「発毛」、「キャッシング」など、単ワードを登録する方が良いです。

次ページへお進みください。

キーワードの検索ボリュームデータが表示されたら、「抽出結果をダウンロード」ボタンをクリックして、データを CSV 出力します。

データを任意の名称、任意の場所に保存してください。

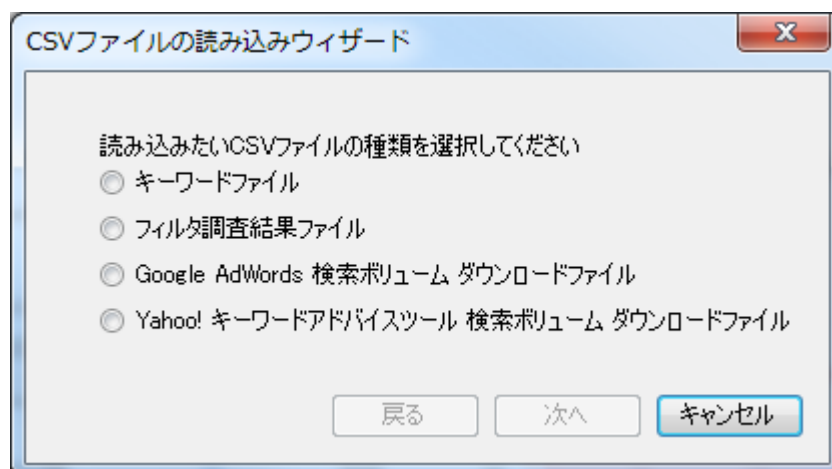
※Brownie で取り込む時のためにデスクトップに保存しておくのが便利です。

◆Brownie で取得した CSV ファイルを読み込む

Brownie を立ち上げて、「CSV ファイルから追加」をクリックします。

次ページへお進みください。

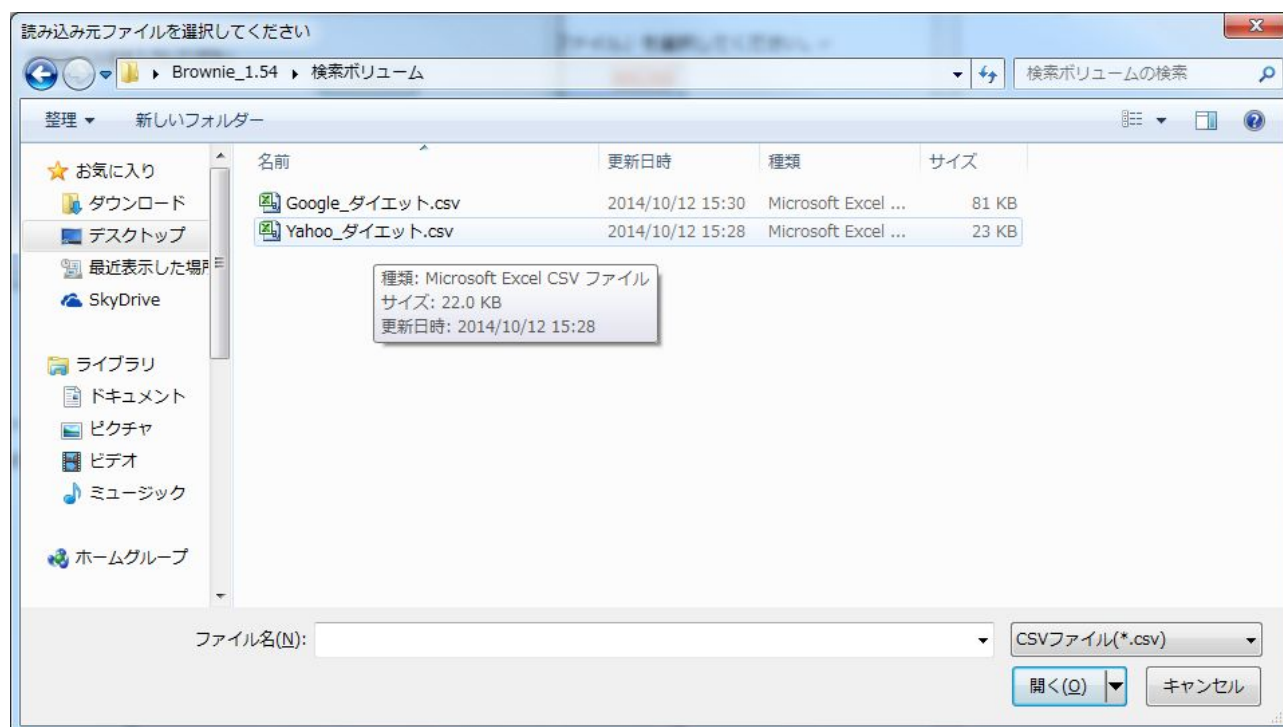
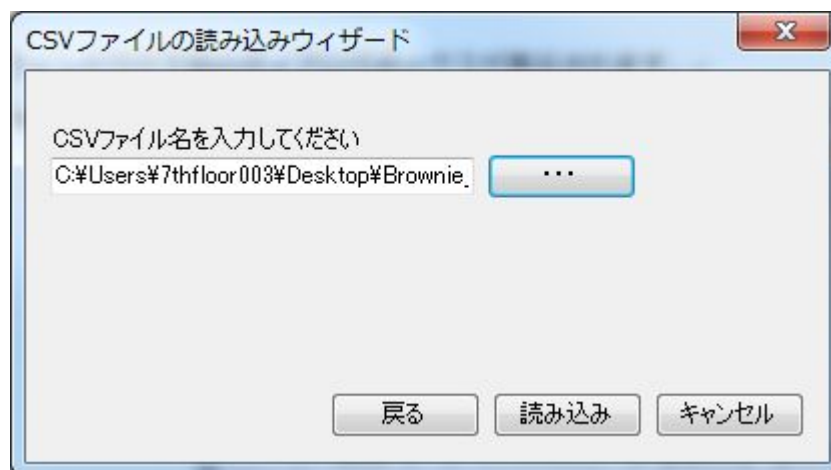
別ウィンドウで下図のダイアログボックスが表示されます。

「Yahoo!キーワードアドバイスツール　検索ボリューム　ダウンロードファイル」を選択してください。

「次へ」をクリックすると下図のファイルの保存場所の選択画面が表示されます。

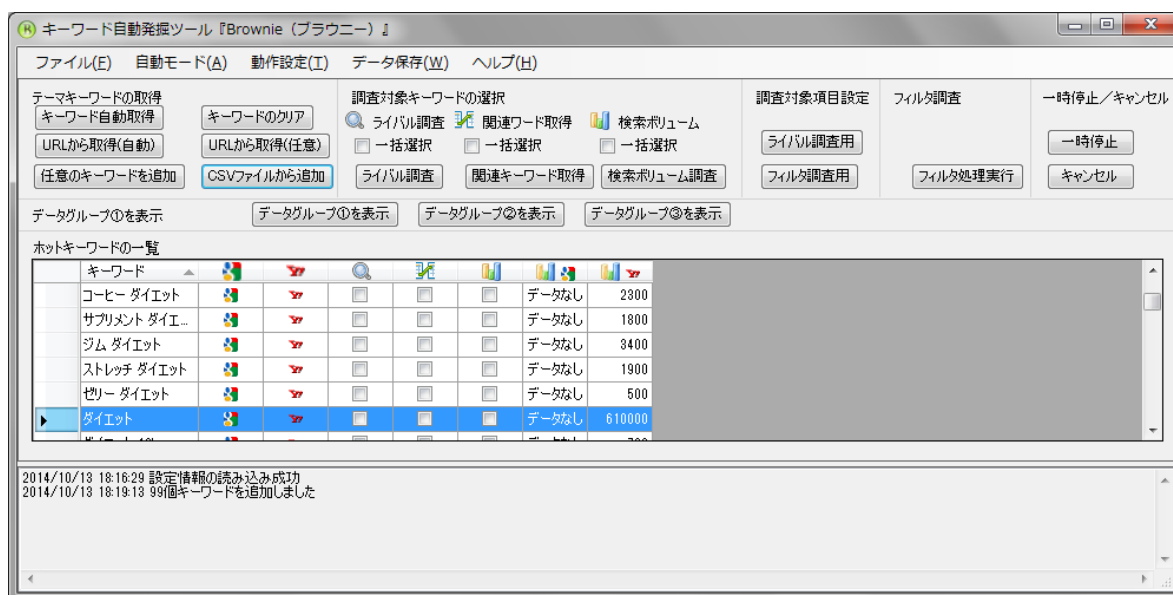
下図のボタンをクリックしてファイルを選択してください。

次ページへお進みください。

下図のように読み込むファイルの選択画面へ遷移しますので、

先程の手順で保存したファイルを選択してください。

下図のようにファイルの選択が完了すると「読み込み」ボタンをクリックできるようになります。

「読み込み」ボタンをクリックしてください。

次ページへお進みください。

下図のように Brownie に検索ボリュームデータがインポートされます。

以上で Yahoo!キーワードアドバイスツールからのデータインポート作業は完了です。

フィルタ調査等を実施してください。

次に Google キーワードプランナーからの検索ボリューム取得について解説いたします。

次ページへお進みください。

★Google キーワードプランナーから検索ボリュームデータを取得する

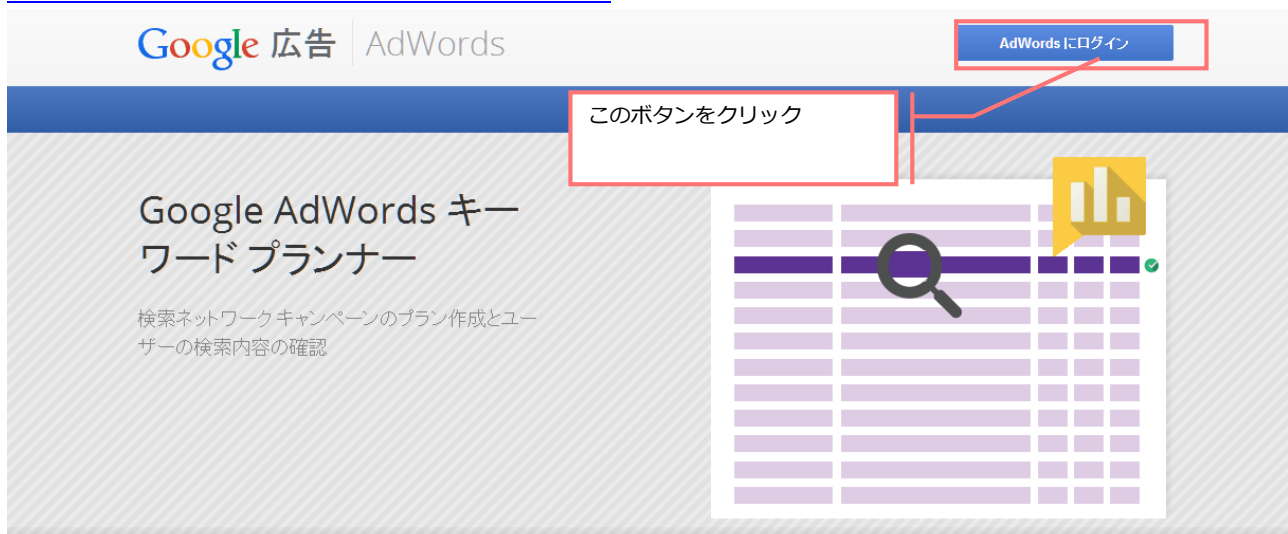
Google AdWords キーワード プランナーにログインしましょう。

アカウント取得の手順で取得した、

・Gmail メールアドレス

・パスワード

で以下の URL からログインしてください。

https://adwords.google.co.jp/KeywordPlanner

新しいキーワードや 広告グループの 候補を検索

キーワード プランナーは、新しい検索ネットワーク キャンペーンを作成する場合や既存のキャンペーンを拡大する場合に役立つワークショップのような場です。キーワードや広告グループの候補を検索すると、過去の統計情報を取得することができるほか、キーワードの成果を見積もったり、複数のキーワードを組み合わせて新しいキーワードを追加したりできます。また、キャンペーンの広告を掲載するのに必要な入札単価と予算を見極めることができます。なお、キーワード プランナーは無料の AdWords ツールです。

キーワード プランナーを活用することで、オンライン掲載広告の経験年数に関係なく、キャンペーンの成功につなげることができます。詳細

次ページへお進みください。

下図の画面からログイン情報を入力してログインを行います。

※初めてアクセスした際には以下の画面が表示されます。

保存して次へをクリックしてください。

登録が完了すると下図の画面へ遷移します。「アカウントへアクセス」をクリックしてください。

次回のアクセスからはこれらの画面は表示されません。

次ページへお進みください。

「運用ツール」⇒「キーワードプランナー」を選択します。

「新しいキーワードと広告グループの候補を検索」をクリックします。

次ページへお進みください。

下図の画面へ遷移します。

下図の画面へ遷移します。

1 行にキーワードを 1 つずつ、改行して入力してください。

設定はデフォルトのままで大丈夫です。

「ダイエット」、「発毛」、「キャッシング」など、単ワードを登録する方が良いです。

Google AdWords　ホーム　キャンペーン　最適化　運用ツール
お客様 ID: 254-647-7551
takahiro.ishiguro.7thfloor@gmail.com

キーワード プランナー
次の検索キャンペーンを計画しましょう

オプションを選択してください

新しいキーワードと広告グループの候補を検索

1 つ以上の項目を指定してください:
宣伝する商品やサービス
例 花、中古車
リンク先ページ
www.example.com/page
商品カテゴリ
商品カテゴリを入力または選択してください

ターゲット設定
すべての地域
すべての言語
Google
除外キーワード

期間
月間検索数の平均を表示する
期間: 過去 12 か月間

検索のカスタマイズ
キーワード フィルタ
キーワード オプション
すべての候補を表示
アカウントのキーワードを非表示
プランのキーワードを非表示
キーワードの設定

候補を取得

キーワードの検索ボリュームを取得、またはキーワードを広告グループに分類

キーワードのトラフィックの見積もりを取得

キーワードのリストを組み合わせて新しいキーワード候補を取得

キーワード プランナーに関するヒント
ディスプレイ キャンペーンを作成する場合は、ディスプレイ キャンペーン プランナーをお試しください
キーワード プランナーの使用方法

重要: 広告グループとキーワードの候補を生成するツールであり、掲載結果の向上を保証するものではありません。キーワードの選択および Google の広告ポリシーや該当する法律への準拠は、ご自身の責任のもとで行っていただくようお願いいたします。

© 2014 Google | 編集ガイドライン | プライバシー ポリシー

登録が完了したら「候補を取得」ボタンをクリックしてください。

次ページへお進みください。

下図のように検索ボリュームデータを取得できます。

「ダウンロード」ボタンをクリックしてください。

下図のようにデータ保存のダイアログが表示されます。

「Excel 用 CSV」を選択して「ダウンロード」ボタンをクリックしてください。

次ページへお進みください。

下図のように「ファイルの保存」ボタンが現れますのでクリックしてください。

データの保存先の選択画面が表示されます。

データを任意の名称、任意の場所に保存してください。

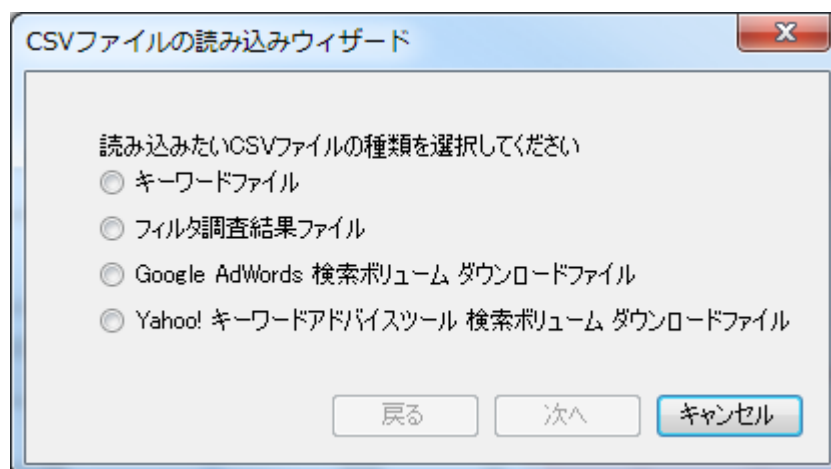
※Brownie で取り込む時のためにデスクトップに保存しておくのが便利です。

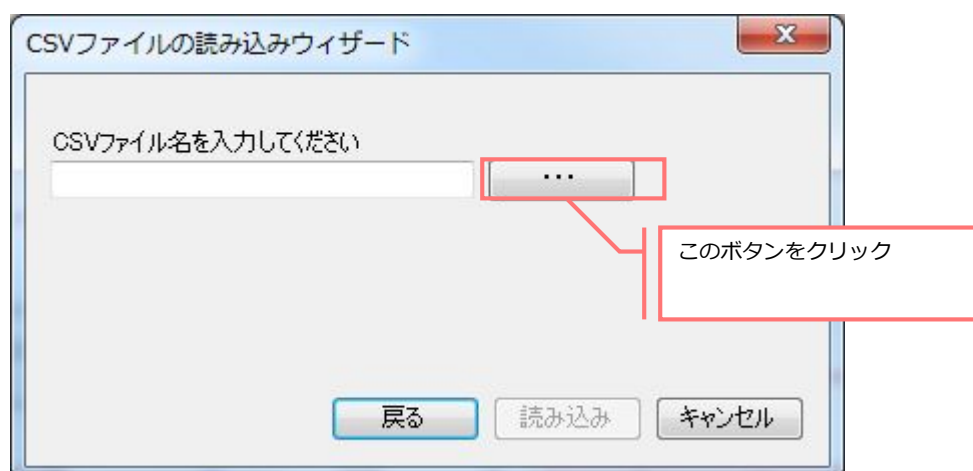
◆Brownie で取得した CSV ファイルを読み込む

Brownie を立ち上げて、「CSV ファイルから追加」をクリックします。

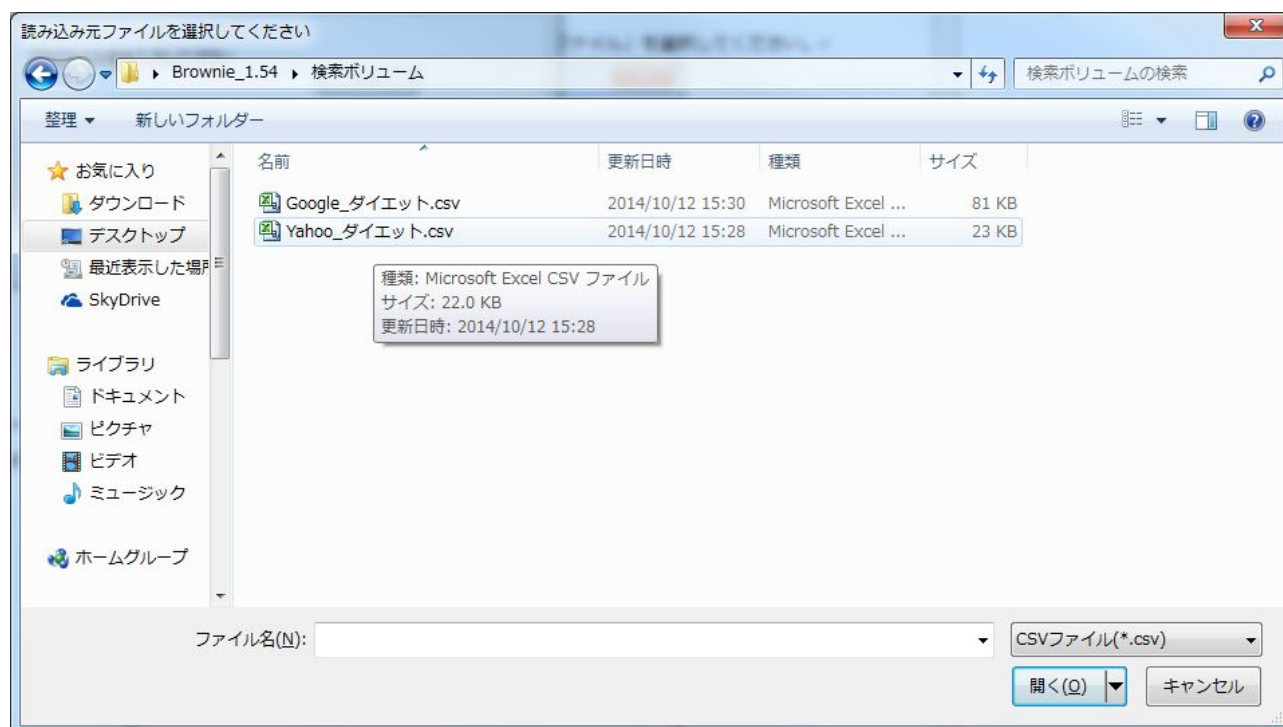
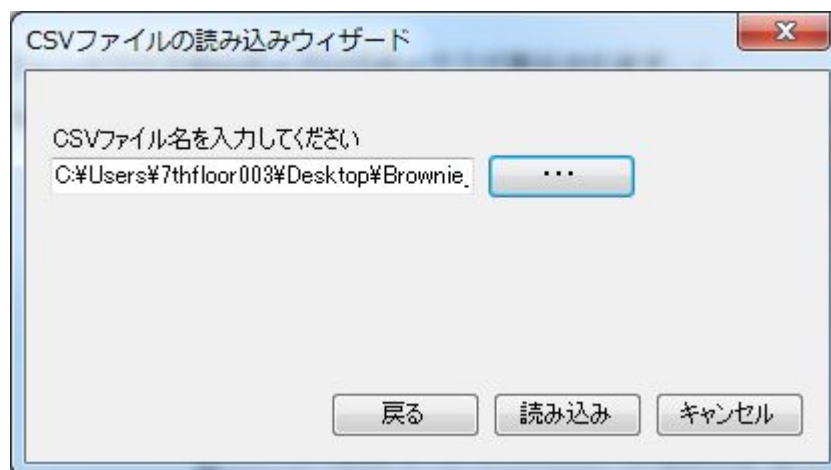
次ページへお進みください。

別ウィンドウで下図のダイアログボックスが表示されます。

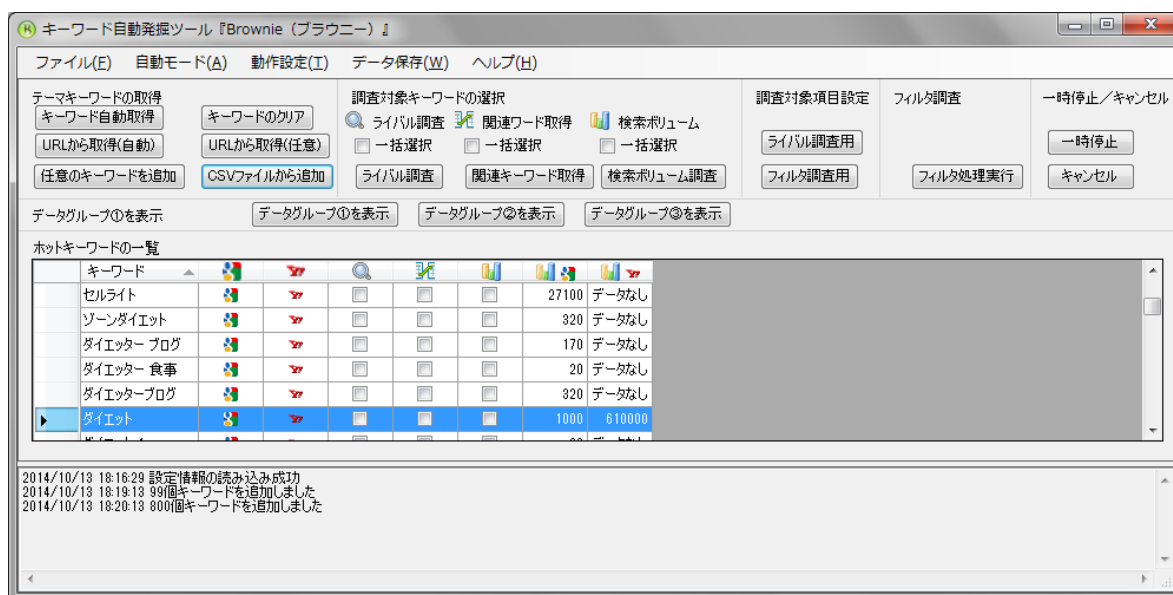
「GoogleAdwords　検索ボリューム　ダウンロードファイル」を選択してください。

「次へ」をクリックすると下図のファイルの保存場所の選択画面が表示されます。

下図のボタンをクリックしてファイルを選択してください。

次ページへお進みください。

下図のように読み込むファイルの選択画面へ遷移しますので、

先程の手順で保存したファイルを選択してください。

下図のようにファイルの選択が完了すると「読み込み」ボタンをクリックできるようになります。

「読み込み」ボタンをクリックしてください。

次ページへお進みください。

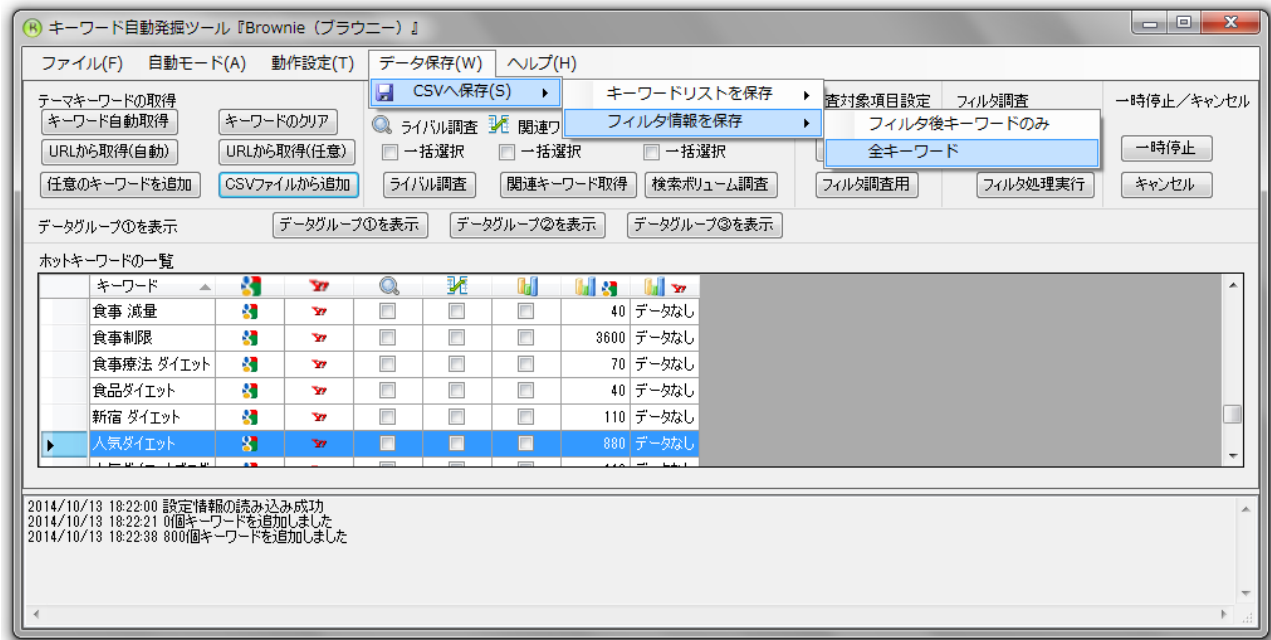
下図のように Brownie に検索ボリュームデータがインポートされます。

以上で GoogleAdwords キーワードプランナーからのデータインポート作業は完了です。
フィルタ調査等を実施してください。

※Yahoo!、Google 両方のデータを使いたい場合は取り込み作業を Yahoo!、Google 別々に行ってください。
全く同じキーワードの場合は検索ボリュームデータが両方表示されます。

検索ボリュームデータの CSV インポート作業に関する解説は以上です。

●CSV へのファイル出力

データの処理中や動作停止時に関わらず、いつでも CSV ファイルへデータを出力し、保存できます。

「ファイル」⇒「CSV へ保存」からデータを選択し、任意の場所へ保存してください。

※「フィルタ後キーワードのみ」で保存を掛けた場合、

「フィルタデータの取得を完了し、条件が合致しているキーワードの情報」のみが保存されます。

※「全キーワード」で保存をかけた場合、フィルタ情報未取得のキーワードも含めて

全データを保存できます。

※「全キーワード」で保存をかけたキーワードリストには、

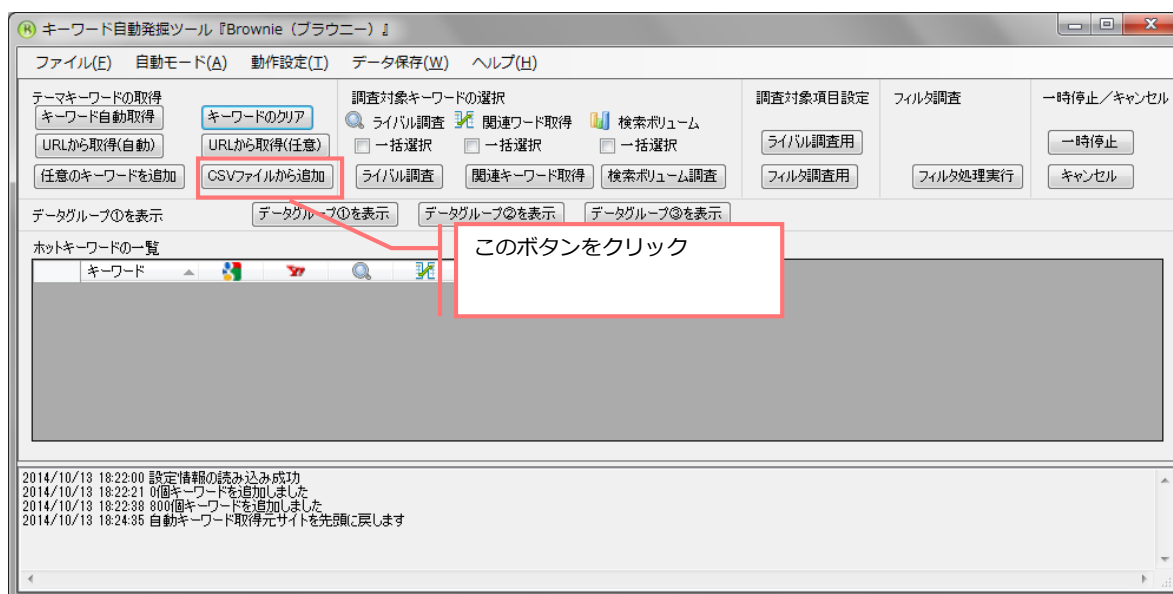
フィルタ処理の作業途中のデータが全て保存されますので、このファイルを

CSV インポート機能で取り込むことにより、フィルタ作業を前回終了時点から再開できます。

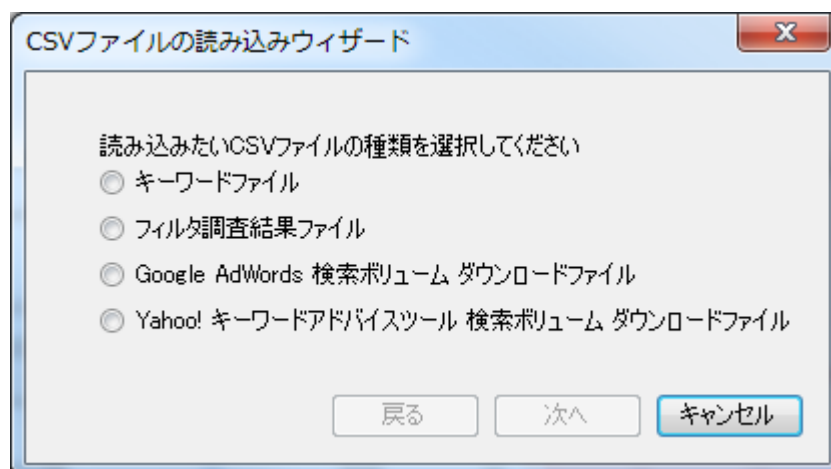
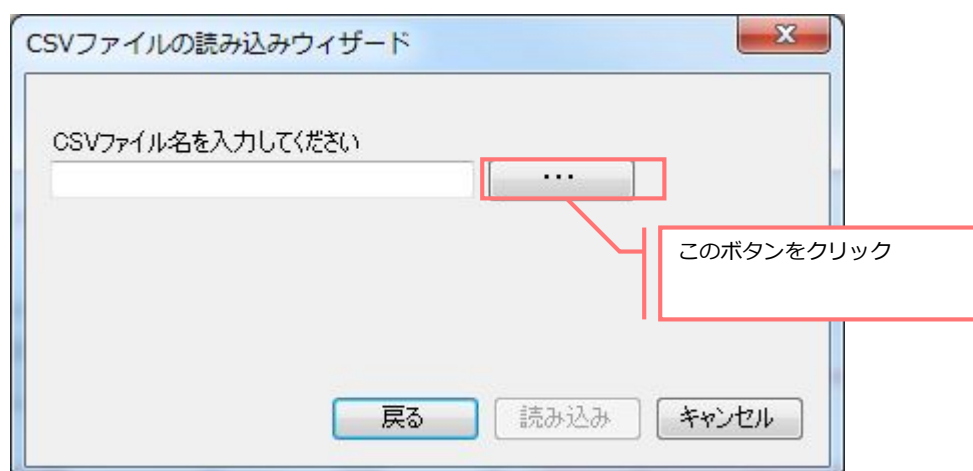
※一括保存はできません。項目ごとに CSV 出力作業を行ってください。

次ページへお進みください。

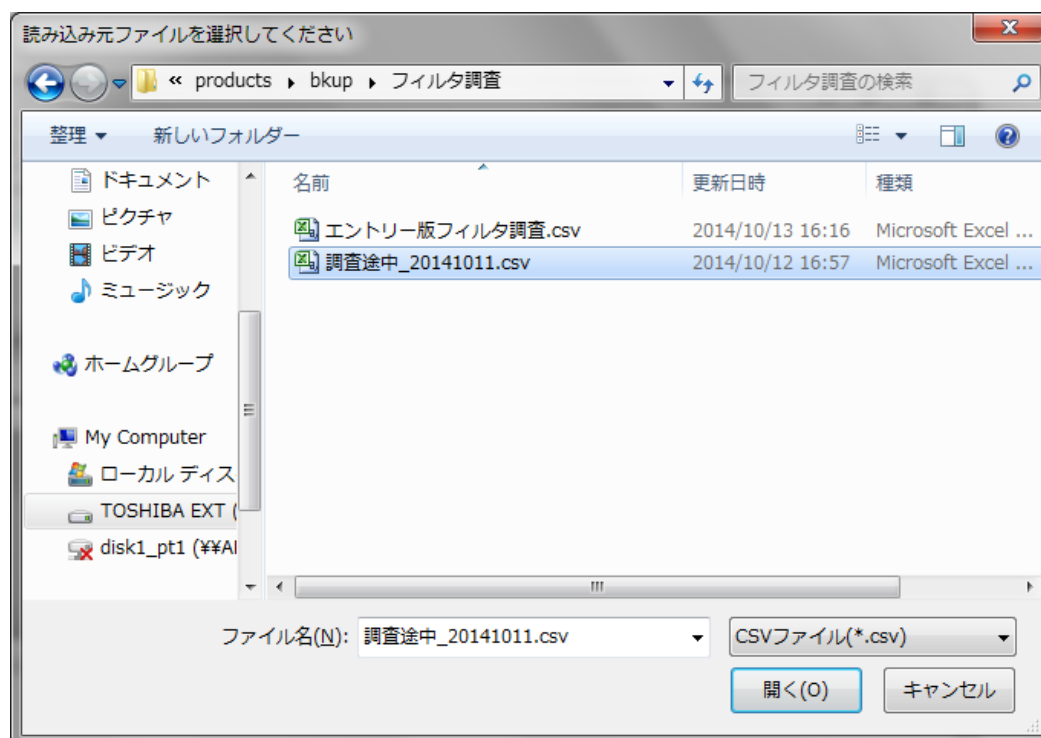
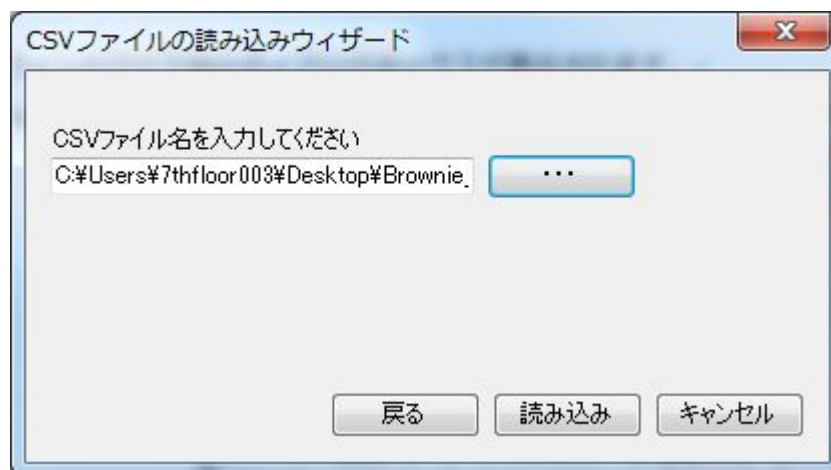
●Brownie 保存データ（フィルタ作業途中データ）の CSV インポートと作業再開について

Brownie を立ち上げて、「CSV ファイルから追加」をクリックします。

次ページへお進みください。

別ウィンドウで下図のダイアログボックスが表示されます。

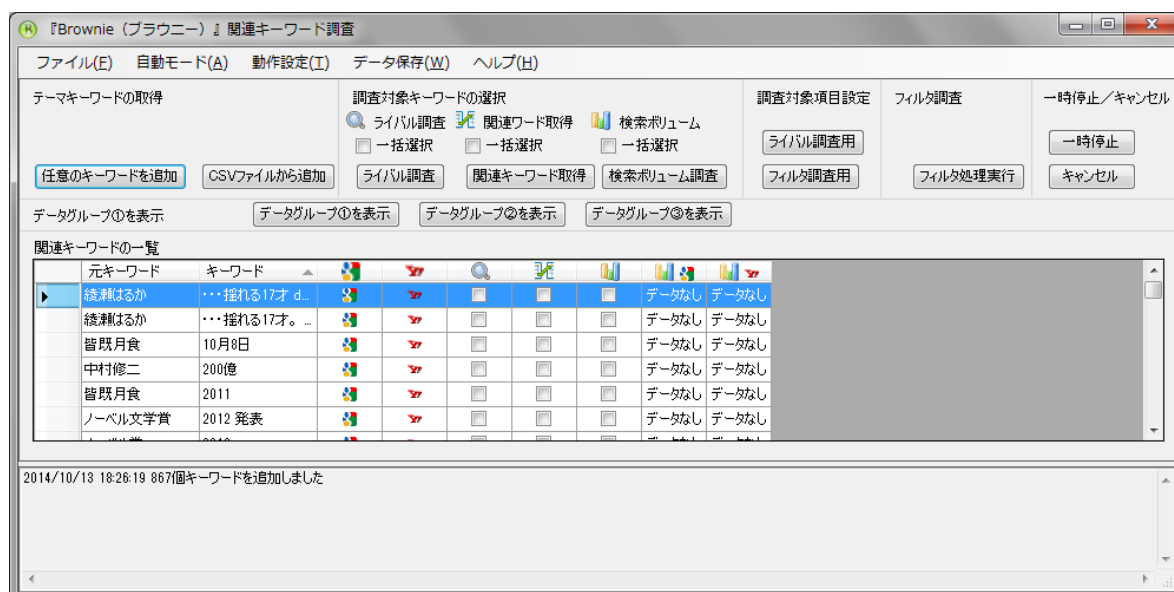
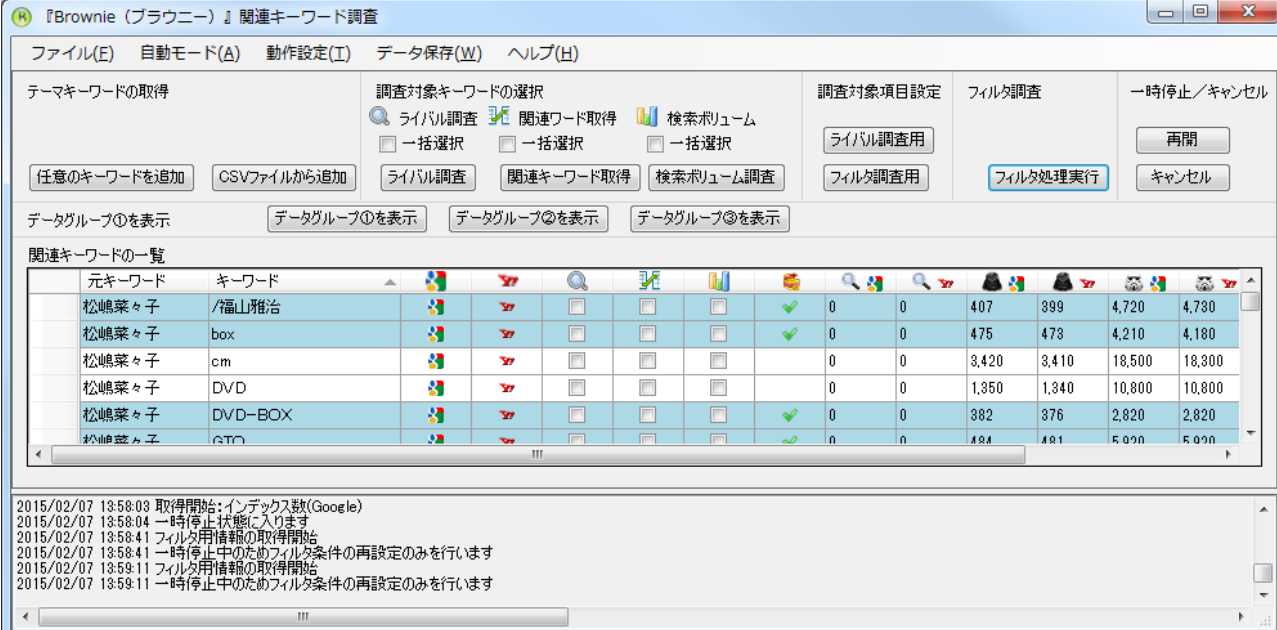
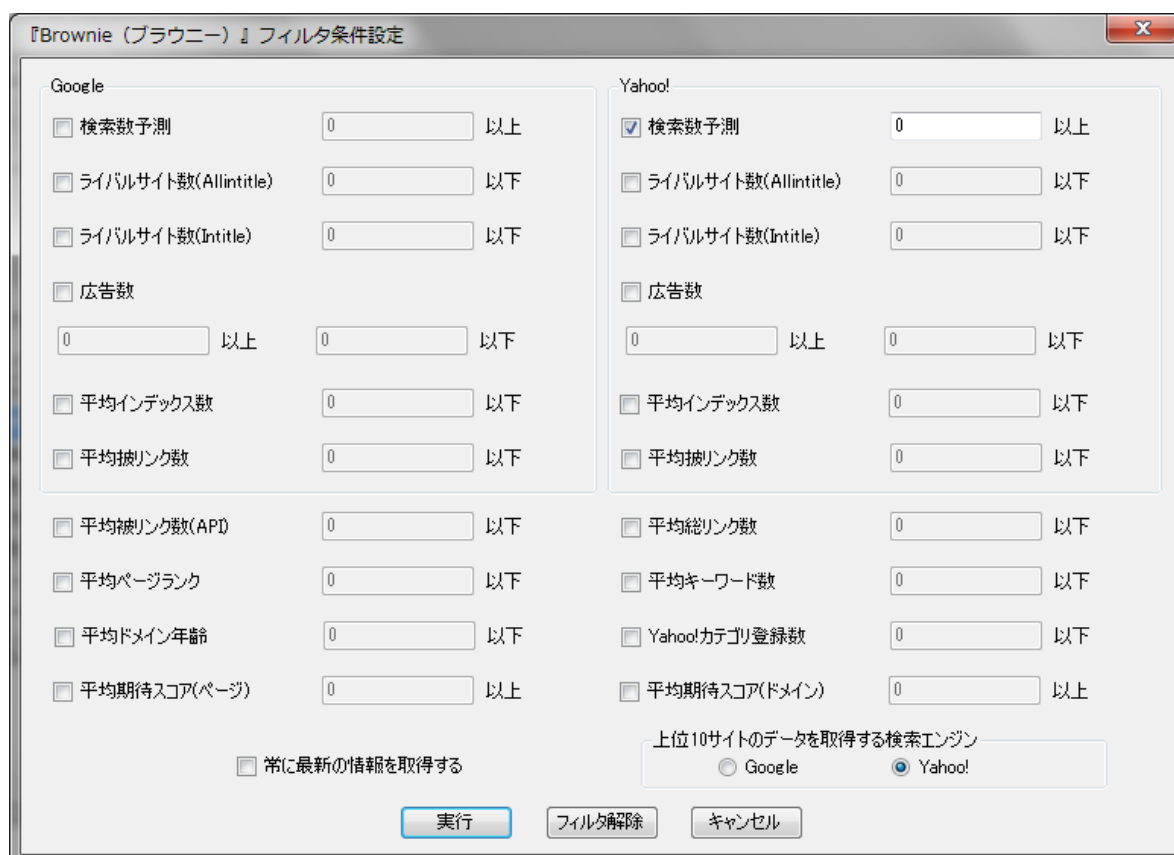
「フィルタ調査結果ファイル」を選択してください。

「次へ」をクリックすると下図のファイルの保存場所の選択画面が表示されます。

下図のボタンをクリックしてファイルを選択してください。

次ページへお進みください。

下図のように読み込むファイルの選択画面へ遷移しますので、
先程の手順で保存したファイルを選択してください。

下図のようにファイルの選択が完了すると「読み込み」ボタンをクリックできるようになります。

「読み込み」ボタンをクリックしてください。

次ページへお進みください。

下図のように Brownie に前回保存したフィルタ情報データがインポートされます。

※この時点ではフィルタ情報は表示されませんが、データとしては前回の作業状態を取り込みできています。

「フィルタ処理実行」ボタンをクリックしてください。

フィルタ設定画面が立ち上がります。

前回作業していたフィルタ処理と同じ設定を登録してください。

次ページへお進みください。

下図のように前回作業終了時点からフィルタ情報取得作業を再開します。

フィルタ情報保存データからのデータインポート作業に関する解説は以上です。

●ショートカットキーを装備しました。

良く使う機能をショートカットキーで呼び出せるようにし、操作性を向上しました。

Ctrl+F　フィルタ設定項目呼び出し

Ctrl+R　ライバル調査設定呼び出し

Ctrl+ K　関連ワード先設定呼び出し

Ctrl+G　自動キーワード取得元呼び出し

Ctrl+0　動作間隔設定呼び出し

●【再掲】右クリック機能を装備しました

本バージョンより、操作性向上のため右クリックでメニューを呼び出せるようになりました。

キーワードを選択した後右クリックでメニューが開きます。

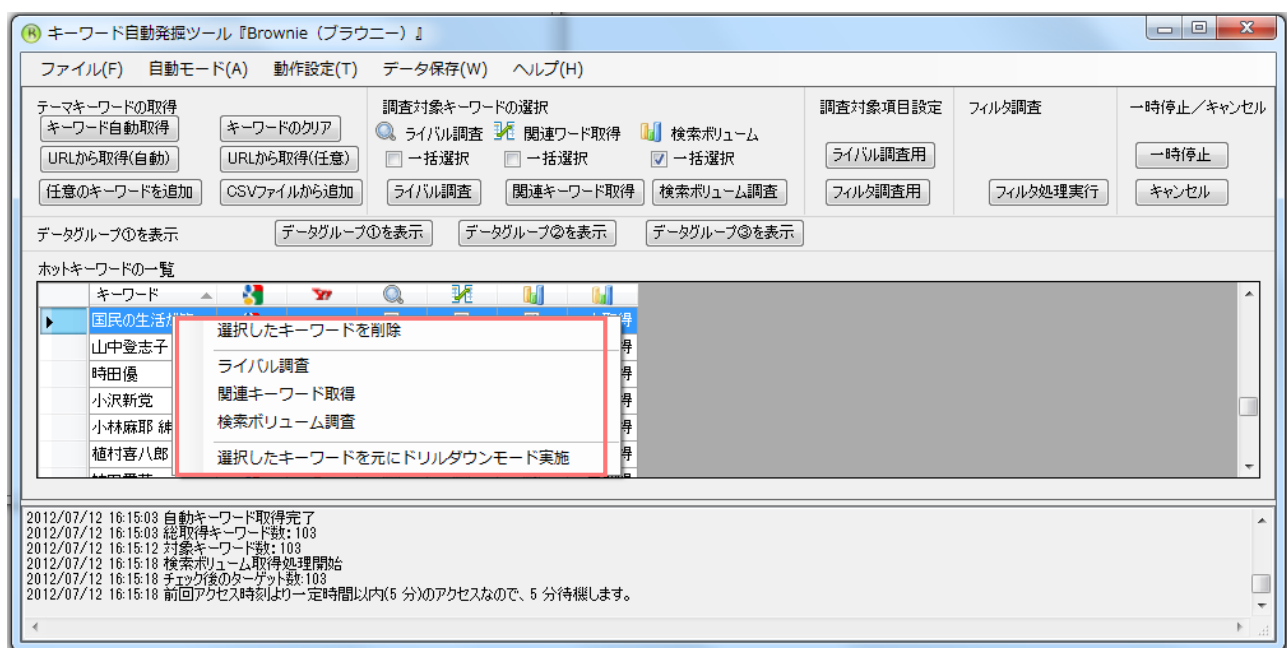
・選択したキーワードを削除

・選択したキーワードからライバル調査をスタート

・選択したキーワードから関連キーワードを取得

・選択したキーワードの検索ボリュームを取得

・選択したキーワードからドリルダウンモードをスタート

以上の操作を行えます。

■ツールを終了する場合

画面右上の「×」ボタン、もしくは「ファイル」⇒「終了」からツールの画面を閉じてください。

※画面を閉じる前に必要なデータがある場合は CSV へ出力し、保存を行ってください。

以上がツールの基本的な操作説明となります。

次ページ以降、良くあるトラブルについての確認ポイントを記載しています。

次ページへお進みください。